L-01B

取扱説明書　’10.5

docomo STYLE series

ドコモ　W-CDMA・GSM／GPRS方式

このたびは、「docomo STYLE series L-01B」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

L-01Bをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。

L-01Bの操作説明について

L-01Bの操作は、本書のほかに「使いかたガイド」（本FOMA端末に搭載）や「取扱説明書（詳細版）」（PDFファイル）で説明しています。

■「取扱説明書」（本書）：画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明

■「使いかたガイド」（本FOMA端末に搭載）：よく使われる機能の概要や操作について説明

L-01Bから　[7]（1秒以上）

■「取扱説明書（詳細版）」（PDFファイル）：すべての機能の詳しい案内や操作について説明

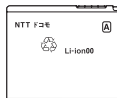
パソコンから　ドコモのホームページでダウンロード

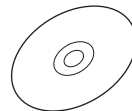
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※ 本書の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品について

L-01B本体（保証書、リアカバー L15を含む）

電池パックL06

取扱説明書（本書）

L-01B用CD-ROM

本FOMA端末に対応したオプション品について→P79

- 本書では、「L-01B」を「FOMA端末」と表記させていただいております。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書に掲載している画面やイラストはイメージです。実際とは異なる場合があります。
- 本書では、主にお買い上げ時の状態（きせかえツールの「L01B_white」設定時）で説明しています。設定の変更などによっては、表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。

目 次

FOMA端末について

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本表示されている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。
- お客様はSSL／TLSをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSL／TLSのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSL／TLSの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、
  サイバートラスト株式会社、
  GMOグローバルサイン株式会社、
  RSAセキュリティ株式会社、
  セコムトラストシステムズ株式会社、
  株式会社コモドジャパン
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、テキストメモ、伝言メモ、音声メモ、動画メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

L-01Bでできること

使いかたガイド→P21

使いたい機能の操作方法をFOMA端末で確認できる便利な機能です。手元に取扱説明書がなくても、すぐに調べられます。

待受画面▶［ァ］（1秒以上）

国際ローミング→P43

日本国内でお使いのFOMA端末・電話番号・メールアドレスが海外でもそのまま使えます（3G・GSMエリアに対応）。

ｉモード→P52

操作性が向上し、より便利にホームページから情報をご利用いただけるようになりました。

カメラ機能→P56

有効画素数約510万画素のアウトカメラ（記録画素数約500万画素）と有効画素数約30万画素のインカメラ（記録画素数約30万画素）の2つのカメラを使って、静止画（オートフォーカス対応）や動画を撮影できます。

ワンセグ→P58

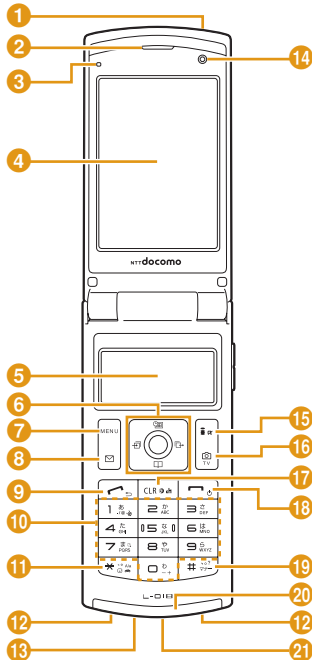
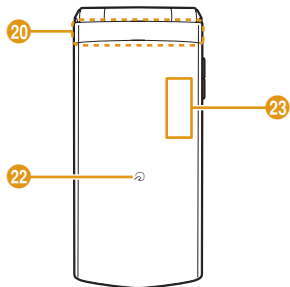
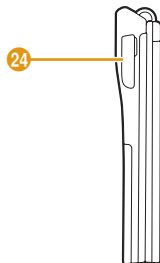
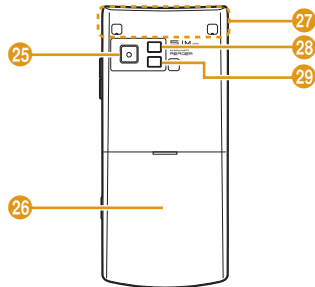
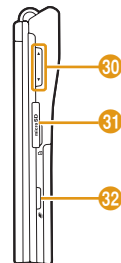
ワンセグ（移動体向け地上デジタルテレビ放送）をご覧いただけます。字幕を表示したり、データ放送が楽しめます。

おサイフケータイ→P64

おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードすることで、通信を利用してFOMA端末内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認したりできます。さらにドコモのクレジットサービス「DCMX」のｉアプリをプリインストール。また機種変更などのFOMA端末お取り替え時でもICカード内データを簡単に移行できる「iCお引っこしサービス」にも対応しています。

カラーセラピー→P65

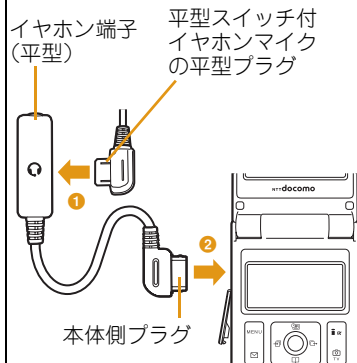
FOMA端末のイルミネーションを点灯させて、色とメロディによる癒し効果を得ることができます。

各部の名称と機能

※ワンセグアンテナは本体に内蔵されており、FOMA端末全体がアンテナの役割をしています。

❶ **赤外線ポート**
❷ **受話口／スピーカー**
❸ **照度センサー**
❹ **ディスプレイ**
❺ **タッチボード**
❻ **ナビゲーションキー**
❼ **MENU メニューキー**
メインメニューを表示します。
❽ **✉ メールキー**
メールメニューを表示します。
❾ **開始キー**
電話をかけます／受けます。
❿ **ダイヤルキー**
電話番号や文字を入力します。
⓫ **＊ 公共モード（ドライブモード）キー**
⓬ **充電端子**
⓭ **送話口**
⓮ **インカメラ**
⓯ **iα ｉモード／ｉアプリキー**
ｉMenu画面を表示します。
⓰ **TV カメラ／TVキー**
静止画撮影画面を表示します。
⓱ **CLR ch クリア／ｉチャネルキー**
操作を1つ前の状態、または待受画面に戻します。
⓲ **電源／終了キー**
通話を終了するときや各機能を終了するときに使います。
⓳ **# マナーモードキー**
⓴ **イルミネーション**
㉑ **ストラップ取り付け穴**
㉒ **マーク**
㉓ **外部LED**
㉔ **外部接続端子**
㉕ **アウトカメラ**
㉖ **リアカバー**
㉗ **FOMAアンテナ**
- FOMAアンテナは本体に内蔵されています。より良い条件で通話をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

㉘ **フォトライト／ライト**
㉙ **カラーリーダー**
㉚ **▲▼ 音量キー**
音量を調節します。
㉛ **microSDカード差し込み口**
㉜ **マルチタスクキー**
新規タスク画面を表示します。

イヤホンのご利用について

別売の外部接続端子対応のイヤホンを接続してください。
なお、外部接続端子に非対応のイヤホンをご利用になる場合には、別売の変換アダプタを接続してご利用ください。

例：平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）の接続

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

警告

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

FOMA端末の取り扱いについて

警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末内のFOMAカードやmicroSDカードの差し込み口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部の表面には保護フィルム、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

「M-toy」のご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

ディスプレイの表面には、落下や衝撃等により破損した場合の安全性確保（プラスチックパネルの飛散防止）を目的とする保護フィルムがあります。このフィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。
フィルムをはがして使用した場合、ディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素　材	表面処理
イルミネーション部	PC樹脂	Sn蒸着
充電端子	ベリリウム銅	Auメッキ

指示

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故の原因となります。

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

警告

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体が漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体が目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタの取り扱いについて

警告

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V
（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

アダプタをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

FOMAカードの取り扱いについて

⚠ 注意

FOMAカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠ 警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

共通のお願い

■水をかけないでください。

FOMA端末、電池パック、アダプタ、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。

多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子（イヤホンマイク端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■FOMA端末、アダプタ、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

■ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。

傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

FOMA端末についてのお願い

■タッチボードの表面を爪やボールペン、ピンなど先の尖ったものや、指で強く押さないでください。

■極端な高温、低温は避けてください。

温度は5℃～35℃、湿度は45％～85％の範囲でご使用ください。

■一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

故障、破損の原因となります。

■外部接続端子（イヤホンマイク端子）に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。
故障、破損の原因となります。

■使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■通常は外部接続端子カバー、microSDカード差し込み口のカバーをはめた状態でご使用ください。
ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■リアカバーを外したまま使用しないでください。
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■ディスプレイやキーのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
故障、破損、誤動作の原因となります。

■microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

■電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

■電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

■電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
- 満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が2本の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

■充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■次のような場所では、充電しないでください。
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

■FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

■他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

■FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

■FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

注意

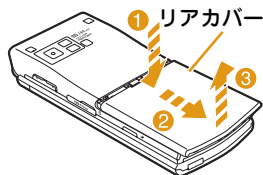
■改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク㊜」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。
技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

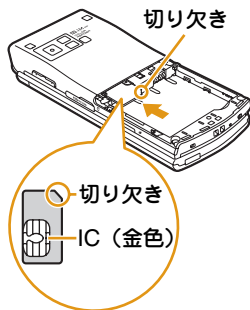
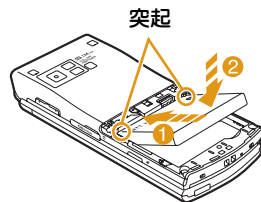
■自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。
やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

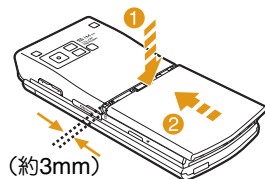
FOMAカード・電池パックの取り付けかた

FOMAカードは、お客様の電話番号などの契約情報が記録されているICカードです。

- 取り付けるときは、FOMA端末を閉じた状態で、両手で持って行ってください。

1 リアカバーを❶の方向に押し付けながら❷の方向へスライドさせ、❸の方向に持ち上げて取り外す

- リアカバーをスライドさせにくい場合は、FOMA端末を両手で持って、両方の親指でリアカバーをスライドさせてください。

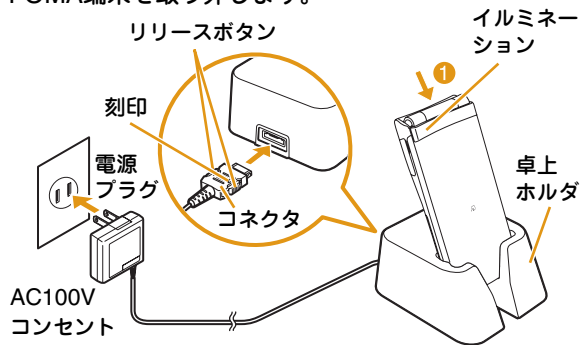
2 FOMAカードの金色のIC面を下にして、カードの表面を押しながら、ゆっくりと奥まで差し込む

3 電池パックの「Ⓐ」と記載されている面を上にして、電池パックとFOMA端末の金属端子が合うように❶の方向に取り付けてから、❷の方向へはめ込む

- 電池パックをはめ込むときは、FOMA端末と電池パックの突起とくぼみが合うようにはめ込んでください。

4 リアカバーを約3mm開けた状態でFOMA端末の溝に合わせ、❶の方向へ押し付けながら❷の方向へスライドさせ、「カチッ」と音がするまで押し込む

充電のしかた

ACアダプタと卓上ホルダで充電する

ACアダプタのコネクタを矢印の刻印されている面を上にして、卓上ホルダ（別売）を押さえながら、卓上ホルダの外部接続端子に水平に差し込みます。
ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込みます。
卓上ホルダに沿ってFOMA端末を❶の方向に差し込みます。

- イルミネーションが点灯し、充電が開始されます。充電が完了すると、イルミネーションが消灯します。

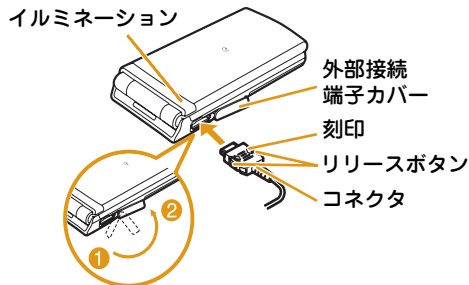
充電が終わったら、卓上ホルダを押さえながらFOMA端末を取り外します。

Information
- ストラップなどを挟まないようにご注意ください。
- FOMA端末を閉じて充電してください。
- ACアダプタのコネクタを抜くときは、コネクタの両側にあるリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に取り外そうとすると、故障の原因になります。

ACアダプタのみで充電する

FOMA端末の外部接続端子カバーを開き（❶）、回転させます（❷）。ACアダプタのコネクタを矢印の刻印されている面を上にして、FOMA端末の外部接続端子へ水平に差し込みます。
ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込みます。

- イルミネーションが点灯し、充電が開始されます。充電が完了すると、イルミネーションが消灯します。

充電が終わったら、ACアダプタのコネクタのリリースボタンを押しながら水平に引き抜きます。

基本の操作

Information

- ACアダプタのコネクタの抜き差しは、向き（表裏）を確かめ水平に行ってください。無理に取り外そうとすると故障の原因となります。

電源を入れる

電源を入れる

1 電源が切れている状態で[━](2秒以上)

ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。

電源を切る

1 電源が入っている状態で待受画面表示中に[━](2秒以上)

終了画面が表示され、電源が切れます。

初期設定を行う

初めて電源を入れた後は、初期設定として「日付／時刻設定」「端末暗証番号変更」「キー確認音設定」「位置提供設定」「タッチボード調整」を行います。

1 電源を入れる▶「はい」

2 日付･時刻の設定を行う

3 端末暗証番号の設定を行う

4 キー確認音の設定を行う(「ON」または「OFF」を選択)

5 位置提供設定を行う

6 タッチボードの補正を行う

自分の電話番号を確認する

FOMAカードに登録されているお客様の電話番号（自局番号）を表示できます。

- メールアドレスの確認／変更方法については『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

1 待受画面▶MENU▶「自局番号」

自局番号を編集する

1 待受画面▶MENU▶「自局番号」▶●［詳細］▶端末暗証番号を入力

2 MENU［メニュー］▶「編集」

3 各項目を編集▶iα［完了］

キー操作を忘れてしまったとき

知りたい機能、使いたい機能を探して操作方法を確認します。機能によっては、内容を確認後その機能を実行することができます。

1 待受画面▶7（1秒以上）

2 「メニュー検索」／「機能ガイド」

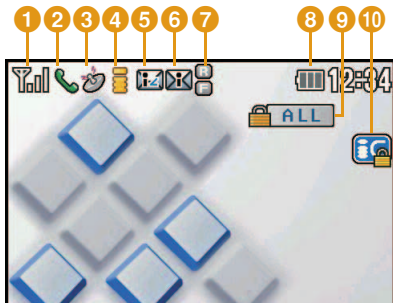
「メニュー検索」では、メニュー項目名やキーワードを入力して知りたい機能を検索できます。iα［文字］を押すと、入力モードの切り替えができます。
「機能ガイド」では、目的の機能を一覧から選択して確認できます。

Information

- 検索結果画面で●［実行］が表示された場合は、●［実行］を押してその機能を実行することができます。

画面の説明

ディスプレイ・アイコンの見かた

ディスプレイの画面に表示されるマーク（アイコン）の意味は次のとおりです。

❶ 電波の受信レベルです。（目安）

サービスエリア外または電波が届かない状態です。
圏外

❷ 音声電話通話中です。

❸ GPS測位中です。

❹ 点滅中はｉモード接続中です。

❺ ｉモードセンターにｉモードメールがあります。

❻ 未読のｉモードメールがあります。

❼ 未読のメッセージRがあります。
未読のメッセージFがあります。

❽ 電池残量表示です。（目安）
～

❾ 全項目ロック設定中です。

❿ ICカードロックを設定中です。

⓫ マナーモードを設定中です。

⓬ 音声電話やテレビ電話の着信音が鳴らず、バイブレータが動作する状態に設定中です。

⓭ メールやメッセージR/Fの着信音が鳴らず、バイブレータが動作する状態に設定中です。

⓮ 公共モード（ドライブモード）を設定中です。

⑮ 伝言メモ設定中です。

⑯ 設定中のアラームがあります。

⑰ 当日のスケジュールまたはTo Doがあります。

⑱ microSDカード装着中です。

⑲ 音声電話やテレビ電話の発信制限を設定中です。

⑳ メールの送信制限を設定中です。

㉑ プライバシーモード設定を設定中です。

不在お知らせアイコン

アイコンに表示されている数字は件数です。

㉒ 不在着信があります。

㉓ 未読メールがあります。

㉔ 留守番電話の伝言メッセージがあります。

㉕ 伝言メモがあります。

外部LEDについて

FOMA端末を閉じたときや、閉じた状態で▲／▼を押すと、約5秒間時計が表示されます。また、電話の着信やメールの受信、FOMA端末の状態などをLEDの点灯パターンでお知らせします。（以下は点灯パターンの一例です。）

時計表示

音声電話／テレビ電話着信中

メール／メッセージR/F受信時

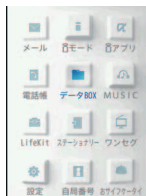
音楽再生中、音量調節時

アラーム鳴動中

Information

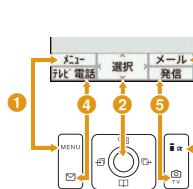
- 他のイルミネーションが点灯、点滅している間は、時計は表示できません。

メインメニューの見かた

FOMA端末では、メインメニューから機能の実行の操作をします。

●メインメニューに表示される機能と対応するキー

機能	キー	機能	キー
メール	1	iモード	2
iアプリ	3	電話帳	4
データBOX	5	MUSIC	6
LifeKit	7	ステーショナリー	8
ワンセグ	9	設定	*
自局番号	0	おサイフケータイ	#

キー操作について

画面下部には、表示中の画面でできる操作がソフトキーとして表示されます。

❶ MENU で行う操作が表示されます。
❷ ● で行う操作が表示されます。
- スクロールや項目の選択が可能な方向を示すマーク（‹^›）も表示されます。

❸ iα で行う操作が表示されます。
❹ ✉ で行う操作が表示されます。
❺ 📷TV で行う操作が表示されます。

タッチボードの使いかた

タッチボードでは、画面に直接触れることでさまざまな操作を行うことができます。

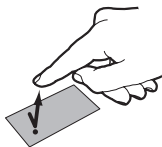
- タッチボードが消灯すると、タッチ操作ができなくなります。次の方法で再度点灯させてから操作してください。
  - いずれかのキーを押す
  - FOMA端末を開く／閉じる

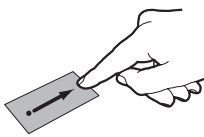
タッチボード利用上のご注意

- 次の場合はタッチボードに触れても動作しないことがあります。
  また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
- 爪やボールペン、ピンなど先の尖ったものや、指で強く押さないでください。

タッチボードに軽く触れて離す

操作例：項目を選択したり、選択した項目を実行したりする

- 本文中では「**タッチ**」と表記しています。

タッチボードに触れたまま、なぞって動かす

操作例：オエカキフォトでイラストを書き込み

タッチボードに軽く触れて、上下または左右にはらう

操作例：画面の上下または左右に表示しきれない項目などがあるときに、高速スクロール（画面によっては動作しないことがあります。）

タッチボードの待受画面の表示と操作

タッチボードの待受画面では、キャラクター壁紙画面やショートカット画面などの機能を利用できます。

●待受画面の切り替え方法

1 待受画面▶▲／▼

2 ❶をタッチして画面を切り替え▶❷をタッチして決定

- ❷をタッチしなくても、数秒後に自動的に決定されます。

キャラクター壁紙画面

動物のキャラクターがディスプレイとタッチボードの中を動き回ります。FOMA端末を傾けたり、振ったりして遊ぶことができます。

1 待受画面▶▲／▼▶△／▽をタッチして「キャラクター壁紙画面」を表示

ショートカット画面

ショートカットアイコンをタッチして、各機能をすばやく呼び出すことができます。

●ショートカットの登録方法

1 待受画面▶[▲]／[▼]▶△／▽をタッチして「ショートカット画面」を表示

2 「新規追加」をタッチ

3 ショートカット登録欄にカーソルを移動▶[●][追加]▶機能を選択▶[iα][完了]

- [MENU]［メニュー］を押すと、登録された機能を削除できます。

●ショートカットの利用方法

1 待受画面▶[▲]／[▼]▶△／▽をタッチして「ショートカット画面」を表示

2 ショートカットアイコンをタッチ

マイコンタクト画面

電話帳からよく利用する相手を登録して、すばやく電話をかけたりメールを送信したりできます。

●マイコンタクトの登録方法

1 待受画面▶[▲]／[▼]▶△／▽をタッチして「マイコンタクト画面」を表示

2 「短縮番号追加」をタッチ
電話帳が表示されます。FOMA端末電話帳が1件も登録されていない場合は、電話帳登録画面が表示されますので、新規に相手を登録してください。

3 相手を選択

●マイコンタクトの利用方法

1 待受画面▶[▲]／[▼]▶△／▽をタッチして「マイコンタクト画面」を表示

2 相手の画像／アイコンをタッチ

3 各項目を選択／設定

オエカキフォト画面

撮影した静止画などをタッチボードの待受画面として表示します。

●設定方法

1 待受画面▶[▲]／[▼]▶△／▽をタッチして「オエカキフォト画面」を表示

基本の操作

2 タッチボード上に表示された静止画を1秒以上タッチ

3 「新規作成」／「データBOXに移動」をタッチ

●表示方法

1 待受画面▶[▲]／[▼]▶△／▽をタッチして「オエカキフォト画面」を表示

メニュー操作について

待受画面からメインメニューを呼び出し、「カラーテーマ設定」の設定画面を表示するまでの操作を例に、2通りの場合の操作方法を以下で説明します。

ナビゲーションキーを利用する場合

1 待受画面で[MENU]を押す

2 メインメニューで[◎]で「設定」にカーソルを移動し、[●][選択]を押す

3 設定画面で[◎]で「表示」にカーソルを移動し、[●][選択]を押す

4 表示画面で[◎]で「カラーテーマ設定」にカーソルを移動し、[●][選択]を押す

ダイヤルキーを利用する場合

1 待受画面で[MENU]を押す

2 メインメニュー画面で「設定」に対応する[＊]を押す

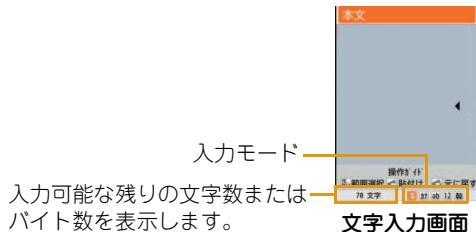
3 設定画面で「表示」に対応する[2]を押す

4 表示画面で「カラーテーマ設定」に対応する[3]を押す

文字入力のしかた

電話帳の登録やメールの作成など、さまざまな状況で文字の入力が必要になりますので、あらかじめ文字の入力方法を覚えてFOMA端末をご活用ください。

文字入力画面

文字入力画面では、そのときの入力モードや操作ガイド情報が表示されています。

文字入力画面

入力モードの切り替え

入力する文字の種類に合わせて、入力モードを切り替えます。入力モードによっては、全角／半角文字の切り替えもできます。

1 **文字入力画面▶ [iα] [文字]**

2 **[iα] [切替]**

- [iα] ［切替］を押すたびに入力モードが切り替わります。
- [✉] ［全角・半角］を押すと、全角と半角が切り替わります（かな漢字入力モード、韓国語入力モードを除く）。

漢　：かな漢字入力モード
カ（ｶﾅ）：カタカナ入力モード
a／A※1（ab／AB※1）
：英字入力モード
1（12）：数字入力モード
韓※2：韓国語入力モード

※1 [MENU] ［大文字・小文字］を押すと、切り替わります。
※2 SMS本文の入力を「日・韓（70文字）」に設定しているときに表示されます。

3 **[●] [選択]**

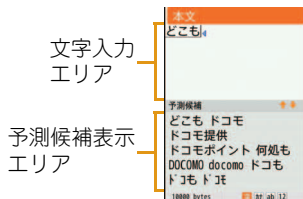
入力モードが確定します。

文字の入力方法

かな漢字入力モードでは、入力中の文字から変換候補を予測する予測入力機能や、次に入力される文節を予測する次文節予測機能の2つの予測機能を使用して文字入力できます。

例：かな漢字入力モードで「ドコモ太郎」と入力する場合

1 文字入力画面で「どこも」と入力

「ど」：[4]を5回▶
[*]を1回
「こ」：[2]を5回
「も」：[7]を5回

予測入力機能による変換候補（予測候補）が表示されます。

2 [十字キー]で予測候補表示エリアにカーソルを移動

3 「ドコモ」にカーソルを移動▶[●][確定]

4 「たろう」と入力

「た」：[4]を1回
「ろ」：[9]を5回
「う」：[1]を3回

5 [十字キー]で予測候補表示エリアにカーソルを移動

6 「太郎」にカーソルを移動▶[●][確定]

絵文字／記号／顔文字を入力する

文字入力時にFOMA端末に登録されている絵文字／記号／顔文字を利用して入力できます。

1 文字入力画面▶[TV][絵／記]

2 [iα][切替]で入力モードを選択

3 [MENU]で種類を切り替え

4 入力したい絵文字／記号／顔文字を選択

Information

- 入力している画面によっては、入力できない場合や入力モード／種類を切り替えられない場合があります。

着信音を変える

1 待受画面▶MENU▶「設定」▶「音／バイブレータ」▶「着信音選択」

2 項目を選択し、ファイルを選択

3 [完了]

音量を調節する

1 待受画面▶MENU▶「設定」▶「音／バイブレータ」▶「音量設定」

2 項目を選択し、音量を調節

3 [完了]

バイブレータを設定する

1 待受画面▶MENU▶「設定」▶「音／バイブレータ」▶「バイブレータ設定」

2 各項目を選択／設定

3 [完了]

マナーモードを利用する

1 待受画面▶#（1秒以上）

マナーモードが設定されると、画面上部にが表示されます。

- マナーモードを設定中でも、カメラのシャッター音は鳴ります。

■マナーモードを解除する場合

待受画面を表示中に#（1秒以上）を押します。

キーを押したときの音を消す

1 待受画面▶MENU▶「設定」▶「音／バイブレータ」▶「音量設定」▶「キー確認音」にカーソルを移動

2 で（ミュート）に設定

3 [完了]

画面の表示を変える

1 待受画面▶MENU▶「設定」▶「表示」▶「待受画面設定」

2 各項目を設定

3 iα［完了］

照明設定

ディスプレイの照明を設定します。

1 待受画面▶MENU▶「設定」▶「表示」▶「照明設定」

2 「自動明るさ設定」にカーソルを移動▶●［ON・OFF］
- 「OFF」にすると、項目を選択／設定できます。

3 iα［完了］

メインメニューのデザインを変更する

待受画面でMENUを押したとき、最初に表示されるメニューを設定します。

1 待受画面▶MENU▶MENU［メニュー］▶「メニュー設定切り替え」▶「カスタムメニュー」／「基本メニュー」▶「はい」

Information
- メニューを一時的に切り替えるには、メニュー表示中にTV［基本・カスタム］を押します。

きせかえツールについて

着信音や待受画面、アイコンメニューなどをまとめて設定できます。

1 待受画面▶MENU▶「データBOX」▶「きせかえツール」

2 「ｉモード」／「プリインストール」にカーソルを移動▶●［開く］

3 きせかえツールにカーソルを移動▶iα［一括設定］▶「はい」

Information

- きせかえツールは、次の操作でも設定できます。
  待受画面▶MENU▶iα［きせかえ］▶「iモード」／「プリインストール」にカーソルを移動▶●［開く］
- 設定をリセットするには、きせかえツール一覧画面でMENU［メニュー］▶「画面／音設定の初期化」▶端末暗証番号を入力します。

着信時の外部LEDの点灯パターンを変える

1 待受画面▶MENU▶「設定」▶「表示」▶「外部LED」

2 「音声着信」／「テレビ電話着信」／「メール受信」▶LEDパターンを選択

3 iα［完了］

着信時のイルミネーションを変える

1 待受画面▶MENU▶「設定」▶「表示」▶「イルミネーション設定」

2 「音声着信」／「テレビ電話着信」／「メール受信」▶各項目を設定

3 iα［完了］▶iα［完了］

Information

- 不在着信や未読メール／メッセージがあるときは、イルミネーションは下記の通り約5秒間隔で点灯、点滅します。このイルミネーションは設定変更できません。
  不在着信：上LED、コレクト、青色
  未読メール／メッセージ：上LED、点滅、ピンク色

電池の消費をおさえる

ディスプレイの照明の明るさを最小レベルに設定し、最後の操作から約10秒経過すると消灯するように設定します。

1 待受画面▶MENU▶「設定」▶「その他」▶「省電力モード」▶「ON」／「OFF」

各種暗証番号について

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気を付けください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とFOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号（お買い上げ時：0000）

端末暗証番号は、お客様ご自身で番号を変更できます。
待受画面▶MENU▶「設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「端末暗証番号変更」

ネットワーク暗証番号（ご契約時：任意の番号を設定）

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や、各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なお、ｉモードからは、「ｉMenu」▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」から変更できます。

- 「My docomo」「お客様サポート」については、取扱説明書裏面の裏側をご覧ください。

ｉモードパスワード（ご契約時：0000）

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み／解約などを行う際には4桁の「ｉモードパスワード」が必要になります（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）。
ｉモードパスワードは、お客様ご自身で番号を変更できます。ｉモードからは、「ｉMenu」▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」から変更できます。

PIN1コード／PIN2コード（ご契約時：0000）

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号です。PIN2コードは、積算通話料金のリセットなどに使用する4～8桁の番号です。これらの暗証番号は、お客様ご自身で番号を変更できます。
PIN1コードを変更する場合は、あらかじめ「PIN1コードリクエスト」を「ON」に設定してください。

待受画面▶MENU▶「設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「PINコード」▶端末暗証番号を入力▶「PIN1コード変更」／「PIN2コード変更」

- 日本国内では、PIN1コード入力画面表示中に［緊急呼］を押下しても、緊急通報（110番、119番、118番）ができません。

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

各種ロック機能

ロック機能	説　明
全項目ロック	他の人にFOMA端末を操作されないように、FOMA端末をロックします。 **1　待受画面▶MENU▶「設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶「全項目ロック」▶端末暗証番号を入力▶「はい」／「いいえ」** ■**全項目ロックを解除する場合** 待受画面でMENU［ロック解除］／いずれかのダイヤルキーを押す▶端末暗証番号を入力します。 端末暗証番号の入力を5回連続して失敗すると、自動的に電源が切れます。 • 全項目ロック設定中でも緊急通報（110番、119番、118番）ができます。（FOMAカード未挿入時を除く） 待受画面でiα［緊急呼］▶緊急通報の番号を選択▶●［OK］を押します。

ロック機能	説　明
おまかせロック	FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データやおサイフケータイのICカード機能にロックをかけることができます。 **おまかせロックの設定／解除** 0120−524−360※ **受付時間　24時間（年中無休）** ※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。 • パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。 • おまかせロックの詳細については『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。
発着信／メールロック設定	他の人のFOMA端末の操作を制限するために、ダイヤルキー操作による電話発信やアドレス入力、電話着信やメール表示ができないようにします。 **1　待受画面▶MENU▶「設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶「発着信／メールロック設定」▶端末暗証番号を入力** **2　「発着信／メールロック設定」にカーソルを移動▶●［ON］▶制限したい項目にチェックを付ける** **3　iα［完了］**

ロック機能	説　明
セルフモード	電話の発着信、ｉモードの利用やメールの送受信など、通信を必要とするすべての機能を使えないようにします。 **1** **待受画面▶MENU▶「設定」▶「発着信／通話機能」▶「セルフモード」▶「はい」／「いいえ」**
プライバシーモード設定	他の人に無断で操作されたくない機能を指定してロックします。 **1** **待受画面▶MENU▶「設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶「プライバシーモード設定」▶端末暗証番号を入力** **2** **「プライバシーモード設定」にカーソルを移動▶●［ON］▶ロックしたい機能にチェックを付ける** **3** **iα［完了］**
GPSロック	GPS機能を利用できないようにします。 **1** **待受画面▶MENU▶「設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶「GPSロック」▶端末暗証番号を入力▶「はい」／「いいえ」** • GPSロック設定中でもGPSの位置提供は可能です。
マイコンタクトロック	マイコンタクトを利用できないようにします。 **1** **待受画面▶MENU▶「設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶「マイコンタクトロック」▶端末暗証番号を入力▶「はい」／「いいえ」**
履歴表示設定	リダイヤル、着信履歴、メール送信履歴、メール受信履歴が表示されないようにします。 **1** **待受画面▶MENU▶「設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「履歴表示設定」▶端末暗証番号を入力** **2** **設定する項目にカーソルを移動▶●［ON･OFF］**
ICカードロック	他人に無断でICカード機能を使用されるのを防ぎます。 **1** **待受画面▶●（1秒以上）** **■ICカードロックを解除する場合** 待受画面で●（1秒以上）▶端末暗証番号を入力します。

電話の着信制限

電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する

電話番号が通知されない電話の着信を、非通知理由ごとに拒否できます。

1 待受画面▶MENU▶「設定」▶「発着信／通話機能」▶「着信機能」▶「非通知着信」▶端末暗証番号を入力▶各項目を選択／設定

電話帳未登録の相手から電話を受けない

電話帳に登録されていない相手や、発信者番号が非通知の相手からかかってきた電話を拒否するように設定できます。

1 待受画面▶MENU▶「設定」▶「発着信／通話機能」▶「着信機能」▶「着信許可／拒否」▶端末暗証番号を入力▶「メモリ登録外着信拒否」にカーソルを移動▶●［ON・OFF］

お買い上げ時の状態に戻す

各種機能の設定を初期状態に戻す

各機能で変更した設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

1 待受画面▶MENU▶「設定」▶「その他」▶「リセット／削除」▶「設定リセット」▶「はい」▶端末暗証番号を入力

登録データを一括して削除する

登録してあるデータを削除します。

1 待受画面▶MENU▶「設定」▶「その他」▶「リセット／削除」▶「メモリ削除」

2 削除したい項目にチェックを付ける▶
i α［完了］▶「はい」▶端末暗証番号を入力

電話／テレビ電話をかける

1 電話番号を入力

- 同一市内へかけるときでも市外局番から入力してください。

2 [発信キー]

受話口から呼出音が聞こえ、相手が電話に出るまで発信中画面が表示されます。

■テレビ電話をかける場合
[テレビ電話キー]［テレビ電話］を押します。

3 通話が終了したら [終話キー]

電話帳を呼び出して電話をかける

1 待受画面▶ [電話帳キー]

2 電話をかける相手にカーソルを移動▶ [発信キー]

■テレビ電話をかける場合
[メールキー]［テレビ電話］を押します。

リダイヤル／着信履歴から電話をかける

1 待受画面▶ [左キー]（リダイヤル）または [右キー]（着信履歴）

2 電話をかける相手にカーソルを移動▶ [●]［詳細］

3 [発信キー] **または** [●]［発信］

■テレビ電話をかける場合
[メールキー]［テレビ電話］を押します。

Information
- 30件を超えた場合は、古い情報から順に削除されます。

相手に自分の電話番号を通知する

発信者番号の通知／非通知の設定を、あらかじめネットワークに設定できます。

1 待受画面▶ [MENU] **▶「設定」▶「NWサービス」▶「発信者番号通知」▶「発信者番号通知設定」**

2「通知する」／「通知しない」

Information
- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか186を付けてからおかけ直しください。

国際電話を利用する

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。

FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し込みをされた方を除きます）。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通話料金と合わせてご請求いたします。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。
- 通信事業者によっては、発信者番号通知を設定していても、発信者番号が通知されなかったり、正しく番号表示されないことがあります。この場合、着信履歴画面から電話をかけることはできません。
- WORLD CALLの詳細については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

電話番号を入力して国際電話をかける

1 「010－国番号－地域番号（市外局番）－相手の電話番号」を入力

- 地域番号（市外局番）の先頭が「0」の場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部の国・地域は「0」が必要な場合があります）。

2 [発信]

■**国際テレビ電話をかける場合**

[iα]［テレビ電話］を押します。

電話／テレビ電話を受ける

1 電話がかかってくる

■**テレビ電話着信中の場合**

[●]［代替画像］：代替画像で電話に出ます。

2 [発信]

■**テレビ電話中の場合**

[iα]［代替画像・カメラ］：相手に送信する画像を代替画像／カメラ画像で切り替えます。

3 通話が終了したら [終話]

相手の声の大きさを変える

1 通話中に [方向キー] **または** [▲]／[▼]

電話に出られないときは

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。

- 公共モードには次の2種類があります。
  - ドライブモード
  - 電源OFF

公共モード（ドライブモード）を利用する

電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 待受画面▶[＊]（1秒以上）

公共モード（ドライブモード）が設定されると、画面上部に[車アイコン]が表示されます。

■公共モード（ドライブモード）を解除する場合

待受画面を表示中に[＊]（1秒以上）を押します。

公共モード（電源OFF）を利用する

電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 「＊25251」を入力▶[発信]

■公共モード（電源OFF）を解除する場合

「＊25250」を入力して[発信]を押します。

伝言メモを設定する

伝言メモを設定しておくと、音声電話に出られないときに応答ガイダンスが再生され、相手の用件が録音されます。

- テレビ電話がかかってきた場合は、伝言メモが起動しません。通常の着信動作を行います。

1 待受画面▶[MENU]▶「ステーショナリー」▶「伝言メモ」▶「伝言メモ設定」

2 「設定」にカーソルを移動▶[●][ON・OFF]

- 「ON」にすると、項目を選択／設定できます。

3 [iα][完了]

伝言メモを設定すると、画面上部に[伝言メモアイコン]が表示されます。

伝言メモを再生する

1 待受画面▶[MENU]▶「ステーショナリー」▶「伝言メモ」▶「伝言メモ一覧」

2 伝言メモにカーソルを移動▶[●][再生]

各種ネットワークサービスを利用する

利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	お申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	必要	有料
キャッチホン	必要	有料
転送でんわサービス	必要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料
発信者番号通知サービス	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料
デュアルネットワークサービス	必要	有料
英語ガイダンス	不要	無料
マルチナンバー	必要	有料
OFFICEED	必要	有料
公共モード（ドライブモード）	不要	無料
公共モード（電源OFF）	不要	無料
メロディコール	必要	有料

Information

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 「OFFICEED」は申し込みが必要なサービスです。ご不明な点はドコモの法人向けサイト（http://www.docomo.biz/html/service/officeed/）をご確認ください。
- 各ネットワークサービスの概要について詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

留守番電話サービス

1 待受画面▶MENU▶「設定」▶「NWサービス」▶「留守番電話」▶項目を選択

キャッチホン

1 待受画面▶MENU▶「設定」▶「NWサービス」▶「キャッチホン」▶項目を選択

転送でんわサービス

1 待受画面▶MENU▶「設定」▶「NWサービス」▶「転送でんわ」▶項目を選択

FOMA端末から利用できるサービス

FOMA端末から ご利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料） （電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

Information

- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
- FOMAカードを取り付けていない場合でも、海外で緊急番号（911、999、112、000、08）をダイヤルして緊急通報ができます。ただし、セルフモードを設定中の場合は緊急通報ができません。
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため携帯電話からかけていることと、電話番号と、明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署などに接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

海外で利用する

国際ローミング（WORLD WING）とは、提携する海外の通信事業者のネットワークを利用して、国内で使用している電話番号のまま海外でも通話や通信ができるサービスです。

- ご利用の際にはWORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。
- 本FOMA端末は、3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。
- 海外でFOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  - 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  - 『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』
  - ドコモの『国際サービスホームページ』
  - FOMA端末にプリインストールされている「海外ご利用ガイド」

●海外で便利な機能やサービスについて

機能／サービス	説　明
ローミングガイダンス設定	国際ローミング中であることを相手に音声ガイダンスでお知らせします。
ローミングガイダンス設定（海外）	
ローミング時着信規制	国際ローミング中の着信を拒否します。
デュアルクロック表示	待受画面に任意の2つの都市の時刻を同時に表示することができます。
単位変換ツール	為替レートを設定して通貨換算ができます。

●海外のネットワークについて

ネットワーク	説　明
W-CDMA（3G）	世界標準規格である3GPP※1に準拠した第3世代移動通信ネットワークです。
GSM※2	世界的に最も普及しているデジタル方式の第2世代移動通信ネットワークです。
GPRS※3	GSM通信方式を利用して高速パケット通信が可能な第2.5世代移動通信ネットワークです。

※1 3rd Generation Partnership Projectの略です。第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
※2 Global System for Mobile Communicationsの略です。世界的に最も普及しているデジタル方式の第2世代移動体通信システムです。
※3 General Packet Radio Serviceの略です。GSMを高速化し、パケット通信などのデータ通信を容易にしています。

WORLD WINGのお申し込み

- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。

海外で利用できるサービス

通信サービス	3G	GSM	GPRS
音声電話※1	○	○	○
テレビ電話※1	○	×	×
SMS	○	○	○
ｉモード※2	○	×	○
ｉモードメール	○	×	○
ｉチャネル※2※3	○	×	○
パソコンと接続して行うパケット通信	○	×	○

○：利用できます。　×：利用できません。
※1 マルチナンバー利用時は付加番号での発信はできません。
※2 ｉモード海外利用設定が必要となります。
※3 海外でのｉチャネル利用設定が必要となります。ベーシックチャネルの情報の自動更新もパケット通信料がかかります（日本国内ではｉチャネル利用料に含まれます）。

Information

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は、日本国内とは異なります。
- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。接続可能な国・地域および海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

滞在国外（日本を含む）に電話をかける

相手の電話番号の先頭に「＋」と国番号を入力して電話をかけます。

- 電話をかける相手が海外でのWORLD WING利用者の場合は、国番号に「81」を入力して日本への国際電話として電話をかけてください。

1 **待受画面▶［0］(1秒以上)▶「国番号－地域番号(市外局番)－相手の電話番号」を入力**

- 地域番号（市外局番）の先頭が「0」の場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部の国・地域は「0」が必要な場合があります）。

2 **［発信］**

■**テレビ電話をかける場合**
［iα］［テレビ電話］を押します。

滞在国内に電話をかける

相手の電話番号を地域番号（市外局番）から入力して電話をかけます。

1 **待受画面▶「地域番号(市外局番)－相手の電話番号」を入力**

2 **［発信］**

■**テレビ電話をかける場合**
［iα］［テレビ電話］を押します。

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

海外でWORLD WING利用中の相手に電話をかけるときは、滞在国内外にかかわらず、日本への国際電話として電話をかけます。

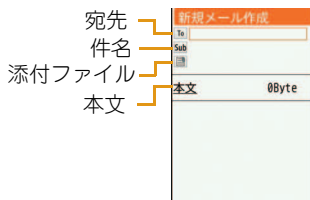
1 **待受画面▶［0］(1秒以上)▶［8］［1］▶先頭の「0」を除いた相手の電話番号を入力**

2 **［発信］**

ｉモードメールを送信する

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mail のやりとりができます。

- ｉモードメールの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

1 待受画面▶[✉]▶「新規メール作成」

2 [To]欄を選択▶「直接入力」▶宛先を入力

3 [Sub]欄を選択▶件名を入力

4 [本文]欄を選択▶本文を入力

5 [iα][送信]

ファイルを添付して送信する

ｉモードメールに画像やメロディを添付して送信します。

- 最大10件、合計2Mバイトまで添付できます。

1 待受画面▶[✉]▶「新規メール作成」

2 [添付]欄を選択▶ファイルを選択

3 [To]欄を選択▶「直接入力」▶宛先を入力

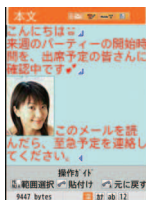
4 [Sub]欄を選択▶件名を入力

5 [本文]欄を選択▶本文を入力

6 [iα][送信]

デコメール®／デコメアニメ®を作成して送信する

デコメール®を作成して送信する

ｉモードメールの本文編集では、文字の大きさや色、背景色を変更したり、画像を挿入するなどの装飾（デコレーション）を行ったりして、オリジナルメールを作成できます。

1 待受画面▶[✉]▶「新規メール作成」

2 宛先、件名を入力

3 [本文]欄を選択▶[✉][デコレーション]

4 パレットを操作して本文をデコレーション

5 パレットが開いている場合は[MENU][閉じる]

■デコメール®の内容を確認する場合
[MENU]［メニュー］▶「プレビュー」を選択します。

6 [●][確定]▶[iα][送信]

デコメアニメ®を作成して送信する

デコメアニメ®は、デコメアニメ®テンプレートを利用し、メッセージや画像を挿入したFlash画像を使った表現力豊かなメールサービスです。
お買い上げ時に登録されているテンプレートやIP（情報サービス提供者）サイトから購入したテンプレートを利用して作成できます。

1 待受画面▶[✉]▶「新規デコメアニメ作成」

2 宛先、件名を入力

3 [編集]欄を選択▶デコメアニメ®テンプレートにカーソルを移動▶[iα][編集]

4 デコメアニメ®の本文の編集や画像を変更

■本文を編集する場合
文字入力欄を選択▶本文を編集

■画像を変更する場合
画像挿入欄を選択▶「画像選択」▶フォルダにカーソルを移動▶[●]［開く］▶ファイルを選択

5 [iα][完了]

■デコメアニメ®の内容を確認する場合
[TV]［プレビュー］を押します。

6 [iα][送信]

受信したｉモードメールを見る

FOMA端末が圏内にあるときは、ｉモードセンターから自動的にｉモードメールが送られてきます。

1 ｉモードメールを受信すると画面上部に[i]が表示される

受信が完了すると、受信結果画面が表示されます。

2 「メール」▶フォルダを選択

3 表示したいメールを選択

ｉモードメールがあるかを問い合わせる

FOMA端末が圏外のときなど、受信できなかったｉモードメールはｉモードセンターに保管されます。ｉモードセンターに問い合わせると、保管されているｉモードメールを受信できます。

1 待受画面▶[✉]▶「ｉモード問い合わせ」

ｉモードメールに返信する

ｉモードメールの送信元に返信します。返信は新たに本文を入力する方法と受信したｉモードメールの本文を引用する方法があります。

1 受信メール詳細画面▶[MENU][メニュー]▶「返信／転送」▶「返信」／「引用付き返信」

- 「返信」を選択した場合は、さらに返信メールの種類を「ｉモードメール」／「デコメアニメ」から選択してください。

2 件名、本文を入力

3 [iα][送信]

メールを自動的にフォルダに振り分ける

条件を設定して、メールを指定のフォルダに自動的に保存するように設定します。

- あらかじめメールを振り分けるためのフォルダを「受信メール」「送信メール」内に作成しておいてください。

1 待受画面▶[✉]▶「メール設定」▶「自動振り分け設定」

2 「受信メールソート」／「送信メールソート」

3 自動振り分けルール設定欄を選択

4 ソート条件欄を選択▶ソート条件を設定

5 ソート対象欄を選択▶メールを振り分けるフォルダを選択▶[iα][完了]

SMSを利用する

SMSを作成して送信する

携帯電話番号を宛先にしてメッセージを送信します。

1 待受画面▶[✉]▶「新規SMS作成」

2 [TO]欄を選択▶「直接入力」▶電話番号を入力

3 [📝]欄を選択▶本文を入力

4 [iα][送信]

受信したSMSを見る

FOMA端末が圏内にあるときは、自動的にSMSが送られてきます。

1 SMSを受信すると、画面上部に[✉]が表示される

受信が完了すると、受信結果画面が表示されます。

2 「SMS」▶フォルダを選択

3 表示したいSMSを選択

電話帳

電話帳には、FOMA端末に保存するFOMA端末電話帳と、FOMAカードに保存するFOMAカード電話帳の2種類があります。それぞれの電話帳に登録／設定できる内容は次のとおりです。

項目		FOMA端末電話帳	FOMAカード電話帳
登録内容	名前（フリガナ）	1件	1件
	電話番号	5件	1件
	メールアドレス	3件	1件
	グループ	31グループ	11グループ
	画像	1件	登録不可
	その他の設定項目	シークレットコード、電話着信音、メール着信音など	登録不可

電話帳に登録する

1 待受画面▶[アドレス帳キー]（1秒以上）▶「登録先」欄を選択▶「本体」／「FOMAカード（UIM）」

2 各項目を設定

3 [iαキー][完了]

リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する

1 待受画面▶[リダイヤルキー]（リダイヤル）または[着信履歴キー]（着信履歴）

2 登録する電話番号にカーソルを移動▶[●][詳細]▶[MENU][メニュー]▶「電話帳登録」

3 「新規登録」

4 電話帳を登録▶[iαキー][完了]

つながる

電話帳を修正する

1 待受画面▶[電話帳キー]▶修正する電話帳を選択▶MENU[メニュー]▶「編集」▶各項目を修正

2 修正が終わったら[iα][完了]▶「はい」

電話帳を削除する

1 待受画面▶[電話帳キー]▶削除する電話帳を選択▶MENU[メニュー]▶[削除]

2 「はい」

電話帳の登録状況を確認する

FOMA端末とFOMAカードの電話帳の登録状況を確認できます。

1 待受画面▶MENU▶「電話帳」▶「電話帳登録件数」

通話やメールの履歴を表示する

1 待受画面▶MENU▶「電話帳」▶「通話／メール履歴」▶表示する履歴を選択

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモードの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

ｉモードのご利用にあたって

- サイトやインターネット上のホームページの内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイトやインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布できません。
- 別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れたりした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画、動画、メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画、動画、メロディなど）、画面メモおよびメッセージR/Fなどは表示、再生できません。
- FOMAカードにより表示・再生が制限されているファイルを待受画面、着信音などに設定している場合、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れたりすると、設定内容は初期状態にリセットされます。

ｉモードサイトへ接続する

1 待受画面▶[iα]

パソコン向けのホームページを表示する

フルブラウザを利用すると、パソコン向けに作成されたインターネットホームページをFOMA端末で表示できます。

- ページによっては、正しく表示されないことがあります。
- 画像を多く含むインターネットホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料および料金プランについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

1 待受画面▶[MENU]▶「ｉモード」▶「フルブラウザホーム」

ｉモードからフルブラウザに切り替える

ｉモードでインターネットホームページを表示中に、フルブラウザに切り替えて表示できます。

- ｉモードとフルブラウザでは課金体系が異なり、画像を多く含むインターネットホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料および料金プランについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

1 ｉモードでインターネットホームページ表示中▶[MENU]［メニュー］▶「フルブラウザ」▶「フルブラウザ切替」

しらべる

サイトの見かたと操作

サイトを選択して表示する

1 サイト表示中▶項目(リンク先)を選択

●サイト表示中のキー操作

操　作	説　明
[戻る]	前のページに戻る
[進む]	次のページに進む
▶「はい」	ｉモードの終了

Bookmarkに登録する

よく見るサイトやインターネットホームページをBookmarkに登録しておくと、見たいページをすぐに表示できます。

1 サイト／インターネットホームページ表示中▶MENU[メニュー]▶「Bookmark」▶「登録」

2 タイトルまたはURLを編集▶「OK」▶登録したいフォルダを選択

Bookmarkからホームページやサイトを表示する

1 待受画面▶MENU▶「ｉモード」▶「Bookmark」

2 フォルダを選択▶表示したいBookmarkを選択

画面メモを保存する

表示中のサイトやインターネットホームページの内容を画面メモとして保存できます。画面メモに保存したページは、ｉモードに接続せずに表示できます。

- サイト側が画面メモ保存不可の指定をしている場合など、画面メモに保存できない場合があります。

1 サイト／インターネットホームページ表示中▶MENU[メニュー]▶「画面メモ」▶「登録」▶「はい」

画面メモを表示する

1 待受画面▶MENU▶「ｉモード」▶「画面メモ」▶表示したい画面メモを選択

ｉチャネル

ニュースや天気などの情報がｉチャネル対応端末に配信されるサービスです。自動的に受信した最新の情報が待受画面にテロップとして流れます。また、CLRを押すことで最新情報がチャネル一覧に表示されます。

- ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。

また、ｉチャネルにはドコモが提供する「ベーシックチャネル」とIP（情報サービス提供者）が提供する「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」は、配信される情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。お好きなチャネルを登録し利用できる「おこのみチャネル」は、情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。「ベーシックチャネル」「おこのみチャネル」ともに、詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかりますのでご注意ください。国際ローミングサービスご利用の際は、自動更新・詳細情報の閲覧共にパケット通信料がかかります。

- ｉチャネルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

ｉチャネルを表示する

ｉチャネルを契約した場合、情報を受信したタイミングで待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。

- 公共モード（ドライブモード）設定中は、テロップは表示されません。

1 待受画面▶CLR

2 チャネル項目を選択

サイトに接続し、詳細情報が表示されます。

GPS機能について

- FOMA端末の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- 位置提供や現在地通知のご利用にあたっては、GPSサービス提供者や、ドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。また、これらの機能の利用は有料となる場合があります。
- FOMA端末が圏外のとき（または海外では）、GPS機能をご利用いただけません。

自分のいる場所を確認する

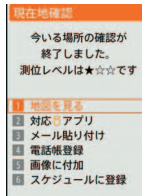
現在地を測位します。測位した現在地を地図で表示したり、位置情報をメールで送信したりできます。

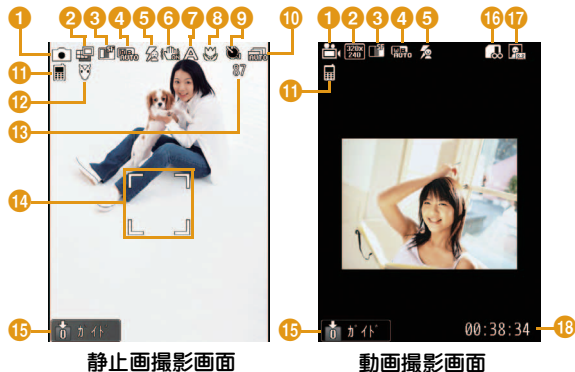
- 現在地を確認した際のパケット通信料は無料です。ただし、位置情報を利用して地図を表示した場合などは、別途パケット通信料がかかります。

1 待受画面▶MENU▶「LifeKit」▶「GPS」▶「現在地確認」

- 待受画面で 1 を1秒以上押しても、操作できます（お買い上げ時の設定では、現在地を測位後、地図を表示します）。

★★★：ほぼ正確な位置情報です（誤差がおおむね50m未満）。
★★☆：比較的正確な位置情報です（誤差がおおむね300m未満）。
★☆☆：おおよその位置情報です（誤差がおおむね300m以上）。

- 測位レベルは目安です。周囲の電波状況などにより、実際とは異なる場合があります。

2 利用方法を選択

撮影画面の見かたと操作

静止画撮影画面　　動画撮影画面

●撮影画面のキー操作

操　作	説　明
［撮影］／［録画］	シャッター／撮影開始
、▲／▼	ズーム
	明るさ調整
［ライト］	ライトの点灯条件を設定
1、［カメラモード］	カメラモードを変更
MENU［メニュー］	設定メニューの表示
CLR、	フォトモード／ビデオモード終了

●撮影画面に表示されるマーク（アイコン）

1. **カメラモード**
   フォトモード　ビデオモード
2. **画像サイズ**
3. **画質**
   スーパーファイン　ファイン　標準
4. **ホワイトバランス**
   自動　晴天　曇り　電球　蛍光灯
5. **ライト**
6. **手ぶれ補正**
7. **場面モード**
   自動　夜景　ポートレート
   風景　スポーツ　サンセット
8. **接写**
9. **セルフタイマー**
   3秒　10秒　15秒
10. **連続撮影**
    自動　手動
11. **保存先メモリー**
    本体メモリー　外部メモリー（microSDカード）
12. **おもしろフェイス撮影モード**
13. **撮影可能枚数**
14. **フォーカス枠**
    オートフォーカス機能の動作時に色が変わって状態を示します。
15. **キー操作のガイド表示**
16. **サイズ制限**
17. **撮影種別**
    映像＋音声　映像のみ　音声のみ
18. **合計撮影可能時間**

たのしむ

静止画／動画を撮影する

静止画を撮影する

1 待受画面▶[カメラ/TV]

2 カメラを被写体に向ける▶[●][撮影]

3 [●][保存]

動画を撮影する

1 待受画面▶[カメラ/TV]▶[iα][カメラモード]▶「ビデオモード」

2 カメラを被写体に向ける▶[●][録画]
撮影開始音が鳴り、動画の撮影を開始します。

3 [●][ストップ]
撮影終了音が鳴って動画の撮影を終了し、フォトライトが消灯します。

4 [●][保存]

撮影した静止画／動画を見る

静止画を見る

1 待受画面▶[MENU]▶「データBOX」▶「マイピクチャ」▶「カメラ」にカーソルを移動▶[●][開く]

2 ファイルにカーソルを移動▶[●][表示]

Information

- 撮影した静止画を待受画面に設定するには、設定したい静止画を表示して[MENU]［メニュー］▶「設定」▶「待受画面」を選択します。

動画を見る

1 待受画面▶[MENU]▶「データBOX」▶「ｉモーション／ムービー」▶「カメラ」にカーソルを移動▶[●][開く]

2 ファイルにカーソルを移動▶[●][再生]

Information

- 撮影した動画を待受画面に設定するには、設定したい動画を再生して[MENU]［メニュー］▶「画面設定」▶「待受画面」を選択します。

ワンセグのご利用にあたって

ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。

- 「データ放送サイト」「ｉモードサイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
- 「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
  社団法人　デジタル放送推進協会
  パソコン：http://www.dpa.or.jp/
  ｉモード：http://www.dpa.or.jp/1seg/k/
  ※海外ではワンセグは利用できません。

電波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。
次のような場所では、正しく動作しない場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など

※FOMA端末を体から離したり近づけたり、場所を移動することで受信状態が良くなることがあります。

電池残量について

電池残量が少ないときにワンセグを利用しようとすると、バッテリー警告音が鳴り、起動するかどうかの確認画面が表示されます。また、視聴中に電池残量が少なくなると、バッテリー警告音が鳴ります。

初めてワンセグを利用する場合の画面表示

お買い上げ後、初めてワンセグを利用する場合、免責事項の確認画面が表示されます。
各事項を確認し、●［OK］を押すと、以後同様の確認画面は表示されません。

ワンセグを見る

チャンネルを設定する

ワンセグを視聴するには、あらかじめチャンネル設定を行い、チャンネルリストを登録する必要があります。

例：チャンネルリストが1件も登録されていない場合

●地域を選択してチャネルを設定する

1. 待受画面▶MENU▶「ワンセグ」▶「チャンネル設定」
2. 「地域選択」▶地域を選択▶都道府県を選択
3. ●［選択］▶「はい」

●自動でチャンネルを設定する

1 待受画面▶[MENU]▶「ワンセグ」▶「チャンネル設定」

2 「自動チャンネル設定」▶「はい」▶[●][保存]▶「はい」

Information

- 「自動チャンネル設定」は、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内で設定してください。

ワンセグを起動する

1 待受画面▶[TV](1秒以上)

ワンセグ視聴画面の見かたと操作

●ワンセグ視聴画面のキー操作

操　作	説　明
[左右キー]、[▲]／[▼]	音量調節
[▼]（1秒以上）	ミュート（消音）
[上下キー]、ダイヤルキー、[＊]、[＃]	チャンネル選択
[✉]［番組表］	番組表を表示
[終話]▶「はい」	ワンセグ終了

ワンセグの視聴を予約する

1 待受画面▶[MENU]▶「ワンセグ」▶「視聴予約リスト」

2 [iα][新規]▶各項目を設定／選択

3 [iα][完了]

Music&Videoチャネルについて

- Music&Videoチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みにはｉモード契約およびｉモードパケット定額サービスの契約が必要です。
- Music&Videoチャネルのサービス利用料のほかに、番組によって別途情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいた後、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にFOMAカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料が発生しますのでご注意ください。
- 国際ローミング中は番組の設定や取得は行えません。※海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。

  ※ 国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、ｉモード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。
- Music&Videoチャネルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

番組を設定する／再生する

番組を設定する

1 待受画面▶MENU▶「MUSIC」▶「Music&Videoチャネル」

2 「番組設定」

3 画面の指示に従って番組を設定

番組を再生する

1 待受画面▶MENU▶「MUSIC」▶「Music&Videoチャネル」▶番組を選択

ミュージックプレーヤー画面の見かたと操作

●ミュージックプレーヤー画面のキー操作

操　作	説　明
● ［ポーズ・再生］	一時停止／再生
上下キー、▲／▼	音量調節
左右キー	頭出しまたは前の曲を再生／次の曲を再生
左右キー（押し続ける）	押している間巻戻し／早送り
8	ジャケット画像／歌詞の表示／非表示を切り替え
終話キー	ミュージックプレーヤーを終了

サイトから音楽データをダウンロードする

1 着うたフル®があるサイトを表示▶ダウンロードする着うたフル®を選択

2 「保存」▶保存先を選択

Information

- インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件（許諾、禁止行為など）をよくご確認の上、ご利用ください。
- FOMA端末やmicroSDカード内に保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、FOMA端末やmicroSDカード内に保存した音楽データは、パソコンなど他の媒体にコピーまたは移動しないでください。

※「着うたフル」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

音楽データを再生する

例：「全曲」から再生する場合

1 待受画面▶MENU▶「MUSIC」▶「ミュージックプレーヤー」

2 「全曲」

3 音楽データにカーソルを移動▶●［再生］

ｉアプリ

「ｉアプリ」とは、ｉモード対応携帯電話用のソフトです。ｉモードサイトからさまざまなソフトをダウンロードすれば、自動的に株価や天気情報などを更新させたり、ネットワークに接続していない状態でもゲームを楽しんだり、FOMA端末をより便利にご利用いただけます。

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。
- ｉアプリの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

サイトからｉアプリをダウンロードする

サイトからソフトをダウンロードして、FOMA端末に保存します。

1 **サイト表示中▶ソフトを選択▶「はい」**

2 **ダウンロード完了▶「はい」**

ダウンロードしたソフトが起動します。

ｉアプリを起動する

1 **待受画面▶[iα]（1秒以上）**

2 **ソフトを選択**

■ｉアプリを終了する場合

[ー]▶「はい」を選択します。

ｉアプリを削除する

1 **待受画面▶[iα]（1秒以上）▶ソフトにカーソルを移動▶[MENU][メニュー]▶「削除」▶「1件」▶「はい」**

Information

- お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除した場合は、「WOW LG」のサイトからダウンロードできます。「WOW LG」では、ｉアプリだけでなく、お買い上げ時に登録されているデコメ®ピクチャ、デコメ絵文字®、壁紙、メロディ、ｉモーションなどをダウンロードできます。
  待受画面▶[iα]▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「WOW LG」
  ※ ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。

iモーションとは映像と音が含まれる動画データです。
iモーション対応サイトからFOMA端末に取り込み、再生したり、保存して待受画面や着信音などに設定できます。

iモーションのタイプ

●標準タイプ

標準タイプには次の2つの形式があります。

① 取得後に再生可能な形式（最大10Mバイトまで）
② 取得しながら再生可能な形式（最大10Mバイトまで）

- iモーションによっては、標準タイプでも保存できない場合があります。

●ストリーミングタイプ

データを取得しながら同時に再生するタイプで、最大10MバイトのiモーションをMを再生できます。再生が終了したデータは破棄されるため、FOMA端末に保存できません。

サイトからiモーション・ムービーをダウンロードする

1 サイト表示中▶iモーションを選択

2 再生／取得完了後に「保存」▶保存先を選択

動画／iモーションを再生する

撮影した動画、サイトやiモードメールから取得したiモーションなどを再生します。

1 待受画面▶MENU▶「データBOX」▶「iモーション／ムービー」

2 フォルダにカーソルを移動▶●［開く］

3 ファイルにカーソルを移動▶●［再生］

- 初めて動画／iモーション（映像付き）を再生したときは、iモーションを常に全画面で再生するかどうかを確認する画面が表示されます。全画面（横）で拡大再生する場合は「はい」を選択してください。縦画面再生にする場合はCLRを押してください。

iモーション再生画面

● iモーション再生画面のキー操作

操　作	説　明
●［ポーズ・再生］	一時停止／再生
［ストップ］	停止
（左右キー）	前のファイル／次のファイルを再生
（左キー）（押し続ける）	押している間映像／音声を巻戻し
（右キー）（押し続ける）	押している間映像／音声を早送り
▲／▼、（上下キー）	音量調節

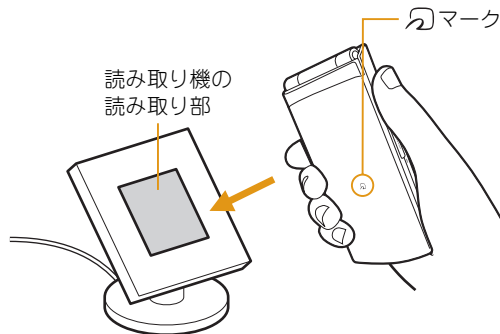
おサイフケータイ

おサイフケータイは、ICカードが搭載されておりお店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけでお支払いなどができる機能です。
さらに、読み取り機にFOMA端末をかざしてサイトやホームページにアクセスしたり、通信を利用して電子マネーの入金や利用状況の確認などができます。
また、安心してご利用いただけるよう、セキュリティも充実しています。
おサイフケータイの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイトよりおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードし、設定を行う必要があります。
- FOMA端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、iCお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。
- 通話中やｉモード接続中、電源が入っていないときや電池残量が少なくなってからでも、マークを読み取り機にかざしておサイフケータイの機能をご利用いただくことができます（おサイフケータイ対応ｉアプリを起動することはできません）。

おサイフケータイを利用する

FOMA端末のマークを読み取り機にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりなどとしてご利用いただけます。この機能は、ソフトを起動せずにご利用いただけます。

- マークは、読み取り部の中央にかざしてください。

スケジュールを利用する

1 待受画面▶[ ]▶スケジュールを登録する日付にカーソルを移動▶[ ][新規]▶「一般スケジュール」※

※ワンセグのチャンネル設定を行っていない場合は、「一般スケジュール」を選択する操作はありません。

2 各項目を設定▶[ ][完了]

アラームを利用する

1 待受画面▶[MENU]▶「ステーショナリー」▶「アラーム」

2 編集するアラームにカーソルを移動▶[●][編集]

3 各項目を設定▶[ ][完了]

バーコードリーダーを利用する

アウトカメラを使ってJANコードやQRコードに含まれている情報を読み取ります。

- バーコードを読み取るときは、アウトカメラをバーコードから約10cm離してください。

1 待受画面▶[MENU]▶「LifeKit」▶「バーコードリーダー」

2 読み取るコードを画面内に表示▶[●][読取]

ピントの自動調節後、コードを読み取ります。読み取りが完了すると完了音が鳴り、読み取ったデータが表示されます。

- マナーモード設定中は、完了音が鳴りません。

3 読み取ったデータを利用する

- 読み取ったデータの種類によって、表示や操作が異なります。

カラーセラピー

FOMA端末のイルミネーションを点灯させて、色とメロディによる癒し効果を得ることができます。

- 充電しながら行うことをお勧めします。

1 待受画面▶[MENU]▶「LifeKit」▶「カラーセラピー」▶効果にカーソルを移動

2 [ ][設定]▶各項目を設定

3 [ ][完了]▶[●][選択]

microSDカードを利用する

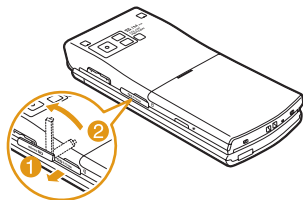
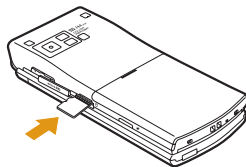
FOMA端末に保存されている画像や動画／ｉモーションなど、データBOX内のファイルをmicroSDカードに保存したり、パソコンからmicroSDカードに保存したファイルをFOMA端末で表示したりすることができます。

- L-01Bでは市販の2GバイトまでのmicroSDカード、8GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています（2010年5月現在）。microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
  - ｉモードから 「ｉMenu」▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「WOW LG」
  - パソコンから http://jp.lgmobile.com/

  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

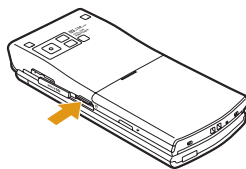
microSDカードの取り付けかた

microSDカードの取り付けは、必ず電源を切った状態で行ってください。

1 **microSDカード差し込み口のカバーを開き（❶）、矢印❷の方向へ回転する**

2 **microSDカードの金属端子面を上にして「カチッ」と音がするまでゆっくり差し込む**

3 **microSDカード差し込み口のカバーを閉じる**

Information
- microSDカードは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。正しくない向きに挿入するとmicroSDカードや差し込み口の破損、または抜き取れなくなる恐れがあります。
- 正しく取り付けられていないとmicroSDカードを利用できません。

microSDカードの取り外しかた

1 **「microSDカードの取り付けかた」の手順1に従ってカバーを開け、microSDカードを矢印の方向へ軽く押し込む**

「カチッ」と音がするまで押し込んでください。microSDカードが少し飛び出します。

2 microSDカードをまっすぐ抜き取る

microSDカードを抜き取った後は、microSDカード差し込み口のカバーを閉じてください。

フォーマットする

microSDカードをフォーマット（初期化）してFOMA端末で使用できるようにします。

1 待受画面▶MENU▶「LifeKit」▶「microSD」▶「microSDフォーマット」

2 「はい」▶端末暗証番号を入力

Information
- フォーマットは必ず本FOMA端末で行ってください。
- フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

microSDカード内のファイルを表示／再生する

「データBOX」で、FOMA端末内にあるファイルと同じように表示／再生ができます。

1 待受画面▶MENU▶「データBOX」▶「マイピクチャ」／「ミュージック」／「ｉモーション／ムービー」／「メロディ」

2 「microSD」にカーソルを移動▶●［開く］

- 手順1で「ミュージック」を選択した場合は、「microSD」ではなく「移行可能コンテンツ」と表示されます。

FOMA端末⇔microSDカード間でファイルをコピー／移動する

データBOX内の「microSD」フォルダとその他のフォルダ間でファイルをコピー／移動することで、microSDカード⇔FOMA端末間でファイルをコピー／移動します。

例：FOMA端末内に保存されたカメラ画像を、microSDカードに移動する場合

1 待受画面▶MENU▶「データBOX」▶「マイピクチャ」

2 フォルダにカーソルを移動▶●［開く］

- 「microSD」以外のフォルダを選択します。

3 ファイルにカーソルを移動▶MENU［メニュー］▶「移動」▶「一件」

4 「外部メモリー」

5 移動先のフォルダにカーソルを移動▶●［開く］▶●［選択］

データのバックアップ

FOMA端末のデータをmicroSDカードにバックアップします。

個人情報のデータには、次のものがあります。

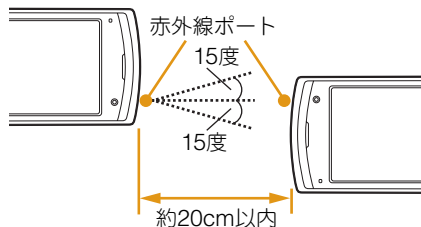
- 電話帳
- スケジュール
- テキストメモ
- To Do リスト
- 受信メール
- 送信メール
- 未送信メール
- Bookmark

1 待受画面▶MENU▶「LifeKit」▶「microSD」▶「個人情報」

2 [バックアップ]▶コピーしたいデータの種類を選択

3 端末暗証番号を入力▶「はい」

赤外線通信を行うには

- 赤外線通信距離は約20cm以内でご利用ください。
- 赤外線通信中は、データ送受信が終わるまでFOMA端末を動かさないでください。
- FOMA端末を手に持って赤外線通信を行う場合は、ぶれないようにしっかりと固定させてください。

赤外線通信を使ってデータを送受信する

- あらかじめ、受信側の機器を赤外線受信状態にしてから送信してください。

データを1件送信する

例：電話帳データを1件送信する場合

1 待受画面▶▶送信したい電話帳にカーソルを移動▶MENU[メニュー]▶「赤外線送信」▶「送信」▶「はい」

より便利に

データを1件受信する

1 待受画面▶MENU▶「LifeKit」▶「赤外線受信」▶「受信」▶「はい」

2 送信側の機器で赤外線送信操作を行う

赤外線通信を開始します。

3 「はい」

データを全件送信する

例：FOMA端末の電話帳データを全件送信する場合

1 待受画面▶[電話帳]▶MENU[メニュー]▶「赤外線送信」▶「本体全件」

2 端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力▶「はい」

赤外線通信を開始します。

データを全件受信する

全件受信をすると、受信したデータによりFOMA端末のデータは上書きされ、登録されていたデータは保護メールなども含めてすべて削除されます。全データの送受信を行う前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。

1 待受画面▶MENU▶「LifeKit」▶「赤外線受信」▶「全件受信」▶「はい」

2 端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

3 送信側の機器で赤外線送信操作を行う

赤外線通信を開始します。

4 「はい」

Information

- L-01B以外の赤外線通信機器との通信では、データが正しく受信されないことや受信側でデータが正しく表示されない場合があります。

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。（ソフトウェア更新→P75）
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

症　状	チェック
FOMA端末の電源が入らない	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。 • 電池切れになっていませんか。
充電ができない（イルミネーションが点灯しない、または点滅する）	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。 • アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。 • アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。 • ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または卓上ホルダ（別売）にしっかりと接続されていますか。 • 卓上ホルダを使用する場合、FOMA端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた布、綿棒などで清掃してください。 • FOMA端末の温度が上昇してイルミネーションが点滅する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

症　状	チェック
操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長い時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。
電源断・再起動が起きる	• 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
キーを押しても動作しない	• 全項目ロックを設定していませんか。

症　状	チェック
FOMAカードが認識しない	• FOMAカードを正しい向きで挿入していますか。
ダイヤルキーを押しても発信できない	• ダイヤル発信制限を設定していませんか。 • 全項目ロックを設定していませんか。 • セルフモードを設定していませんか。
通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	• 電源を入れ直すか、電池またはFOMAカードを入れ直してください。 • 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • リスト指定着信拒否、電話帳指定着信許可／拒否など着信制限を設定していませんか。 • 電波の込み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

症　状	チェック
おサイフケータイが使えない	• 電池パックを取り外したり、おまかせロックがかかっていたりすると、ICカードロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなります。 • ICカードロックを設定していませんか。 • 携帯電話本体の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より一年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

●調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、本書または本FOMA端末に搭載の「使いかたガイド」の「故障かな?と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡の上、ご相談ください。

●お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶画面・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります

- 故障受付窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

- ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

- FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後4年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

●お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やキー部にシールなどを貼る
    - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。

- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカー、受話口部
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

ｉモード故障診断サイト

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

- 「ｉモード故障診断サイト」への接続方法
  ｉモードサイト：ｉMenu▶お知らせ▶サービス・機能▶ｉモード▶ｉモード故障診断

サイト接続用QRコード

- ｉモード故障診断のパケット通信料は無料となります。

※ 海外からのアクセスの場合は有料となります。

ソフトウェア更新

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要がある場合に、パケット通信を使って更新する機能です。
※ソフトウェア更新のパケット通信料は無料です。

更新に関する情報は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お客様サポート」にてご案内いたします。更新方法には、「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の3つの方法があります。

- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただしダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、予めご了承願います。

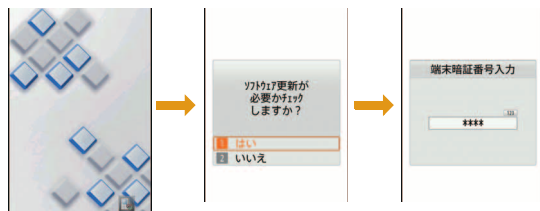
ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他機能を利用できません（ダウンロード中は音声着信が可能です）。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- 海外ではソフトウェア更新をご利用できません。

更新方法

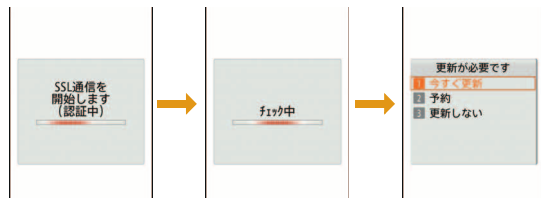
ソフトウェア更新を起動するには、待受画面に表示された（更新お知らせアイコン）を選択して行う方法とメニュー画面から行う方法があります。

1 （更新お知らせアイコン）を選択する場合

待受画面▶［●］▶［✕］で（更新お知らせアイコン）にカーソルを移動▶［●］▶「はい」▶端末暗証番号を入力

メニュー画面から行う場合

待受画面▶［MENU］▶「設定」▶「その他」▶「ソフトウェア更新」▶端末暗証番号を入力▶「更新実行」

通信が開始され、ソフトウェア更新が必要かチェックされます。

- 更新が必要な場合は、ソフトウェア更新確認画面が表示されます。
- ソフトウェア更新が不要の際は「更新の必要はありません」と表示されますので、そのままご利用ください。

有害なデータをチェックする

FOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際にFOMA端末に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータがFOMA端末にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことが出来ませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータはFOMA端末の機種ごとにデータの内容が異なります。よって弊社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

パターンデータを更新する

- まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

1 待受画面▶MENU▶「設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「スキャン機能」▶「パターンデータ更新」▶「はい」▶「はい」

更新が開始されます。更新が終了すると完了をお知らせする画面が表示されます。

- パターンデータが最新の場合は、最新をお知らせする画面が表示されます。

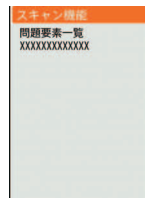
2 ●[OK]

その他

スキャン結果の表示について

●スキャンされた問題要素の表示について

警告レベルを示す画面で「詳細」を選択すると、右のような問題要素の一覧画面が表示されます。

- 画面はイメージです。実際の画面では、「XXXXXXXX」の部分に検出されたデータ名が表示されます。
- 検出されたデータの種類によっては、「詳細」が表示されない場合があります。
- 問題要素が6件以上検出された場合は、6件目以降の問題要素の表示は省略され、合計件数のみ表示されます。

●スキャン結果の表示について

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2	警告レベル3	警告レベル4
スキャン機能 正常に動作できない 場合があります OK 詳細	スキャン機能 正常に動作できない 場合があります 動作を中止しますか？ はい いいえ 詳細	スキャン機能 正常に動作できない 場合があるため 終了します OK 詳細	スキャン機能 正常に動作できない 場合があります データを 削除しますか? はい いいえ 詳細	スキャン機能 正常に動作できないため データを削除します OK 詳細
「OK」：動作を継続します。	「はい」：動作を中止して、終了します。 「いいえ」：動作を継続します。	「OK」：動作を中止して、終了します。	「はい」：データを削除して、終了します。 「いいえ」：動作を中止して、終了します。	「OK」：データを削除して、終了します。

- スキャン結果によっては、画面表示が異なる場合があります。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック L06
- リアカバー L15
- 卓上ホルダ L05
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02
- イヤホンジャック変換アダプタ P001
- スイッチ付イヤホンマイク P001※1／P002※1
- FOMA乾電池アダプタ 01
- 骨伝導レシーバマイク 01
- FOMA室内用補助アンテナ※2
- FOMA補助充電アダプタ 01
- キャリングケースL 01
- FOMA充電機能付USB接続ケーブル 01※3／02※3
- FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※2
- FOMA USB接続ケーブル※3
- FOMA ACアダプタ 01※4／02※4
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01※4
- 平型ステレオイヤホンセット P01
- ステレオイヤホンセット P001※1
- FOMA DCアダプタ 01／02
- 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01
- イヤホンマイク 01
- イヤホン変換アダプタ 01
- ステレオイヤホンマイク 01
- 車内ホルダ 01

※1 L-01Bに接続するには、イヤホンジャック変換アダプタ P001が必要です。
※2 日本国内で使用してください。
※3 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※4 ACアダプタの充電方法について→P19

メニュー一覧

■の項目は、「設定リセット」でお買い上げ時の状態に戻る機能です。→P37

●メール

受信メール	受信BOX
	メッセージR
	メッセージF
送信メール	送信BOX
未送信メール	
新規メール作成	
新規デコメアニメ作成	
新規SMS作成	
テンプレート	デコメール
	デコメアニメ
ｉモード問い合わせ	
SMS問い合わせ	
メール選択受信	
メール設定	通信 ■
	表示 ■
	メールグループ ■
	自動振り分け設定 ■
	SMS設定 ■
	端末情報利用設定 ■
	編集 ■
	その他

●ｉモード

ｉMenu・検索	
Bookmark	
画面メモ	
ラストURL	
URL入力	URL直接入力
	URL入力履歴
ｉチャネル	ｉチャネル一覧
	ｉチャネル設定
	ｉチャネル初期化

ｉモード設定	ｉモードブラウザ設定
	フルブラウザ設定
	共通設定
	ｉモード設定確認
	ｉモード設定リセット
インターネット検索	
フルブラウザホーム	

● ｉアプリ

ソフト一覧	
ｉアプリ情報	セキュリティエラー履歴
	自動起動情報
	トレース情報
	待受画面エラー情報
ｉアプリ設定	ソフト情報表示設定
	自動起動設定
	待受画面表示終了

●電話帳

電話帳登録	
電話帳検索	
電話帳登録件数	
電話帳設定	通常検索モード設定
	ドメインリスト作成
	着信許可／拒否リスト
グループ設定	
通話／メール履歴	着信履歴
	リダイヤル
	メール受信履歴
	メール送信履歴
通話時間表示	
通話料金表示	積算料金表示
	通話料金上限通知
	上限通知アイコン消去

●データBOX

マイピクチャ	ｉモード
	カメラ
	デコメピクチャ
	デコメ絵文字
	プリインストール
	フレーム
	データ交換
	スライドショー
	microSD
	ｉモードで探す
ミュージック	プレイリスト
	ｉモード
	移行可能コンテンツ
	続きから再生
	PCから転送した曲
	SDオーディオ
	ｉモードで探す
Music&Videoチャネル	配信番組
ｉモーション／ムービー	ｉモード
	カメラ
	プリインストール
	プレイリスト
	データ交換
	microSD
	ｉモードで探す
メロディ	ｉモード
	プリインストール
	データ交換
	microSD
	ｉモードで探す
きせかえツール	ｉモード
	プリインストール
	ｉモードで探す
その他	

●MUSIC

ミュージックプレーヤー	全曲
	プレイリスト
	アーティスト
	ジャンル
	アルバム
	続きから再生※
Music&Videoチャネル	番組1
	番組2
	番組設定
	番組リスト
	サービスのご案内

※再生中の曲がある場合は「再生中」と表示されます。選択すると再生中のプレーヤー画面を表示します。

●LifeKit

バーコードリーダー	
赤外線受信	受信
	全件受信
microSD	個人情報
	データ更新
	メモリ情報
	microSDフォーマット

カメラ	フォトモード
	ビデオモード
	バーコードリーダー
ドキュメントビューア	
Muvee Studio	
オエカキフォト	
FOMA通信環境確認	
ケータイデータお預かりサービス	お預かりセンターに接続
	通信履歴表示
	電話帳内画像送信設定
GPS	現在地確認
	現在地通知
	位置履歴
	対応ｉアプリ
	GPS設定
カラーリーダー	カラーリーダー
	カラーリスト
	LED点灯
カラーセラピー	

ステーショナリー

スケジュール	
アラーム	
テキストメモ	
伝言メモ	伝言メモ設定
	伝言メモ一覧
To Do リスト	
記念日マネージャー	
辞典	
ゲーム	
世界時計	
ストップウォッチ	
電卓	
単位変換ツール	

ワンセグ

ワンセグ視聴
番組表
視聴予約リスト
テレビリンク
チャンネル設定
ワンセグ設定

設定

音／バイブレータ	着信音選択
	効果音選択
	タッチ設定
	音量設定
	バイブレータ設定
	マナーモード設定
	メール鳴動設定
	呼出動作開始時間設定
	イヤホン切替設定
表示	待受画面設定
	きせかえツール
	カラーテーマ設定
	着信画面設定
	タッチボード設定
	ウェイクアップ設定
	クイックダイヤル
	イルミネーション設定
	外部LED
	照明設定

発着信／通話機能	着信機能
	テレビ電話
	通話機能
	セルフモード
	プレフィックス設定
	サブアドレス設定
	イヤホン設定
ロック／セキュリティ	ロック
	シークレットモード
	履歴表示設定
	端末暗証番号変更
	PINコード
	スキャン機能

NWサービス	留守番電話
	キャッチホン
	転送でんわ
	着もじ
	迷惑電話ストップ
	発信者番号通知
	番号通知お願いサービス
	通話中着信設定
	通話中の着信動作選択
	その他
国際ダイヤルアシスト設定	自動変換機能設定
	国際プレフィックス
	国番号設定
	国番号一覧

国際ローミング設定	ネットワーク
	留守番電話（海外）
	転送でんわ（海外）
	遠隔操作設定（海外）
	番号通知お願いサービス設定（海外）
	ローミングガイダンス設定（海外）
	ローミング時着信規制
	ローミング着信通知設定（海外）
	海外ご利用ガイド
日付／時刻	日付／時刻設定
	日付／時刻表示設定
	時刻お知らせ
Select language	

その他	文字入力
	メモリ状況
	省電力モード
	リセット／削除
	ソフトウェア更新
	USBモード設定
	電池残量
	タッチボード調整

●自局番号

自局番号

●おサイフケータイ

ICカード一覧
DCMX
ICカードロック設定
ｉモードで探す

主な仕様

●本体

<table>
<tr><td colspan="3">品　名</td><td>L-01B</td></tr>
<tr><td colspan="3">サイズ（H×W×D）</td><td>約110mm×約50mm×約15.1mm
（最厚部：約18.7mm）</td></tr>
<tr><td colspan="3">質　量</td><td>約130g（電池パック装着時）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">連続待受時間</td><td rowspan="2">FOMA／3G</td><td>3G／GSM切替：3G</td><td>移動時：約330時間</td></tr>
<tr><td>3G／GSM切替：自動</td><td>静止時：約400時間
移動時：約250時間</td></tr>
<tr><td>GSM</td><td>3G／GSM切替：自動</td><td>静止時：約220時間</td></tr>
<tr><td rowspan="2">連続通話時間</td><td colspan="2">FOMA／3G</td><td>音声電話時：約210分
テレビ電話時：約90分</td></tr>
<tr><td colspan="2">GSM</td><td>音声電話時：約180分</td></tr>
<tr><td colspan="3">ワンセグ視聴時間</td><td>省電力モードON時：約170分
省電力モードOFF時：約150分</td></tr>
<tr><td colspan="3">充電時間</td><td>ACアダプタ：約220分
DCアダプタ：約220分</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="3">液晶部</td><td>方式</td><td>ディスプレイ：TFT 262,144色
タッチボード：TFT 65,536色
外部LED：1色</td></tr>
<tr><td>サイズ</td><td>ディスプレイ：約3.0inch
タッチボード：約1.6inch
外部LED：約1.0inch</td></tr>
<tr><td>画素数</td><td>ディスプレイ：384,000画素
（480ドット×800ドット）
タッチボード：44,800画素
（320ドット×140ドット）
外部LED：17ドット×5ドット</td></tr>
<tr><td rowspan="3">撮像素子</td><td>種類</td><td>インカメラ：CMOS
アウトカメラ：CMOS</td></tr>
<tr><td>サイズ</td><td>インカメラ：1/11.0inch
アウトカメラ：1/3.2inch</td></tr>
<tr><td>有効画素数</td><td>インカメラ：約30万画素
アウトカメラ：約510万画素</td></tr>
</table>

カメラ部	記録画素数（最大時）	インカメラ：約30万画素 アウトカメラ：約500万画素
	ズーム（デジタル）	インカメラ： なし（静止画撮影時） 最大約1.7倍 （動画撮影時） アウトカメラ： 最大約2.0倍 （静止画撮影時） 最大約1.3倍 （動画撮影時）
記録部	静止画保存枚数	約80枚※1（お買い上げ時）
	静止画連続撮影	6枚
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間	約60分※2
	動画ファイル形式	MP4

音楽再生	連続再生時間	SDオーディオ（バックグラウンド再生対応）： 約500分※3 着うたフル®（バックグラウンド再生対応）： 約600分※3 ｉモーション※4： 約180分※3 WMAファイル（バックグラウンド再生対応）： 約550分 MP3ファイル（バックグラウンド再生対応）： 約500分 Music ＆Videoチャネル： Music： 約600分（バックグラウンド再生対応） Video：約180分
保存容量	着うた®／着うたフル®	約94MB※5（お買い上げ時）

※1　サイズ選択：QCIF（176×144）　保存画質設定：標準
　　ファイルサイズ：10K
※2　以下の条件で保存できる1件あたりの最大録画時間です。
　　サイズ選択：Sub-QCIF　サイズ制限：制限なし
　　画質設定：標準　撮影種別：映像+音声
※3　ファイル形式：AAC形式
※4　音声のみのｉモーション
※5　Music&Videoチャネルと共有

●電池パック

品　名	電池パック L06
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	900mAh

●FOMA端末の最大保存件数

種　別		最大保存件数
電話帳		1000件※1
スケジュール	スケジュール	200件
	休日	100件※2
メール※3	受信メール※4	1000件
	送信メール／未送信メール	500件
Bookmark※5		200件※6
画面メモ※5		50件
ｉアプリ		100件※7
データBOX	画像※8	2000件※7
	動画／ｉモーション	2000件※7
	メロディ	2000件※7
	きせかえツール	2000件※7

※1　50件までFOMAカードに保存できます。
※2　お買い上げ時に設定されている祝日を含みます。
※3　ｉモードメールとSMSの合計件数となります。
※4　「受信BOX」フォルダに保存されている「♪Welcome Mail♪」「デコメをプレゼント」の件数を含みます。
※5　ｉモードとフルブラウザの合計件数となります。
※6　お買い上げ時に登録されている「季節のデコメをプレゼント」を含みます。
※7　お買い上げ時に登録されているデータを含みます。
※8　スライドショーは最大30件（画像の最大保存件数2000件に含む）保存できます。

携帯電話の比吸収率（SAR）

この機種L-01Bの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機L-01BのSARの値は0.675W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。なお、本機のSARの値は、ご利用いただけます各国の許容値も満足しております。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
：http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
：http://www.arib-emf.org/
ドコモのホームページ
：http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
LG Mobileホームページ
：http://jp.lgmobile.com/

※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.504W/kg, and when worn on the body, is 1.24W/kg.
(Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display

Grant section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after search on FCC ID BEJL01B.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 2.5 cm from the body.

＊ In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Declaration of Conformity

The product "L-01B" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.
This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.573W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

＊ The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

＊＊ The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

＊＊＊ Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、地図データ、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」「着もじ」「ｉモード」「ｉアプリ」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「ｉモーション」「デコメール®」「デコメ®」「デコメ絵文字®」「デコメアニメ®」「ケータイデータお預かりサービス」「おまかせロック」「デュアルネットワーク」「ｉチャネル」「おサイフケータイ」「DCMX」「セキュリティスキャン」「メッセージF」「マルチナンバー」「Music&Videoチャネル」「メロディコール」「OFFICEED」「iCお引っこしサービス」「きせかえツール」「ドコモwebメール」「docomo STYLE series」および「ｉ-mode」ロゴ、「ｉ-αppli」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- 「キャッチホン」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc. の登録商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2009 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Sync Clientを搭載しています。
  ACCESS、NetFrontは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  Copyright© 2010 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
  本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

- AdobeおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- Google, モバイルGoogle マップは、Google, Inc. の登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- 「AXISフォント」は株式会社アクシスの登録商標です。また、「AXIS」フォントはタイププロジェクト株式会社が制作したフォントです。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

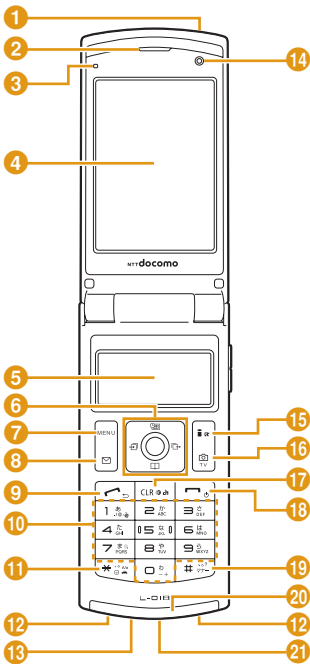
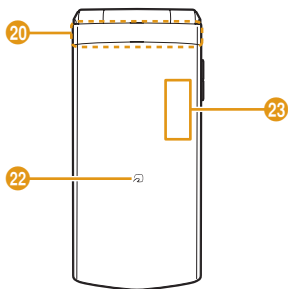
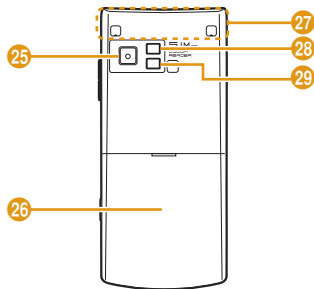
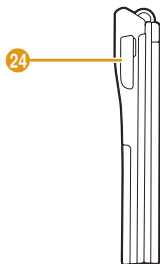
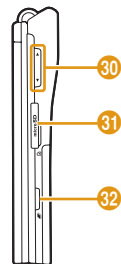
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Lite™テクノロジーを搭載しています。
  Adobe Flash Lite Copyright© 2003-2010 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、FlashおよびFlash LiteはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
  - Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4ビデオ）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者から入手されたMPEG-4ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

4,901,307	5,504,773	5,109,390	5,535,239
5,267,262	5,600,754	5,416,797	5,490,165
5,101,501	5,511,073	5,267,261	5,568,483
5,414,796	5,659,569	5,056,109	5,506,865
5,228,054	5,544,196	5,337,338	5,657,420
5,710,784	5,778,338		

Quick Manual

Part Names and Functions

■ Front

■ Front with FOMA terminal closed

■ Rear

■ Left side

■ Right side

1	Infrared port	9	Start key	17	Clear/i-Channel key	25	Outer camera
2	Earpiece/Speaker	10	Dial keys	18	Power/Exit key	26	Back cover
3	Illumination sensor	11	* Public mode (Drive mode) key	19	# Manner mode key	27	FOMA antenna
4	Display	12	Charging terminals	20	Illumination	28	Photo light/Light
5	Touch board	13	Mouthpiece	21	Strap hole	29	Color reader
6	Navigation key	14	Inner camera	22	mark	30	Volume keys
7	MENU Menu key	15	i-mode/i-αppli key	23	External LED	31	microSD card slot
8	Mail key	16	Camera/TV key	24	External connector terminal	32	Multitask key

Switching Languages

Switching Display Language to English or Korean

Stand-by display ▶ MENU ▶ "設定 (Settings)" ▶ "Select language" ▶ "日本語 (Japanese)"/"English"/ "한국어 (Korean)"

Switching Input Modes in SMS Message

You can send/receive SMS in Korean between terminals that support Korean. To enter text in Korean, set "JP/KR(70Chara)"

Stand-by display ▶ ✉ ▶ "Mail setting" ▶ "SMS setting" ▶ "SMS input character" ▶ "Japanese(70Chara)"/"JP/KR(70Chara)"/ "English(160Chara)"

Saving Phonebook Entries

Stand-by display ▶ (for over 1 second) ▶ Enter each item ▶ [Done]

Select a saving destination
"Registered memory" ▶ "Phone"/"UIM"

Set a memory number
"Memory No." ▶ Enter a memory number

Set a name
"Name" ▶ Enter a name

Set a reading
"Reading" ▶ Enter a reading

Set a phone number
"Phone number" ▶ "Direct input" ▶ Enter a phone number ▶ Select an icon

Set a mail address
"Mail address" ▶ Enter a mail address ▶ Select an icon

Set a group
"Group" ▶ Select a group

Character Entry

* "韓" appears when "SMS input character" is set to "JP/KR(70Chara)".

その他

Main Operations on Character Entry Screen

Switch input modes

[Mode] ▶ Press [Change] several times

Switch between full-pitch/half-pitch

[Mode] ▶ [To full/To half]

Switch to Pictograph/Symbol/Emoticon input mode

[Pict/Sym] ▶ Press [Change] several times

Enter voiced/semi-voiced sound symbol or switch upper/lower case

Enter a character and press * several times

Enter punctuation

Press # several times

Enter a line feed

*/

Enter a space

[Menu] ▶ "Special input" ▶ "Space"/ at the end of a sentence

Example of Character Entry

Enter "ドコモ (DOCOMO)"

Enter "どこも (DOCOMO)" in Hiragana and Kanji mode

" ど (DO)" : Press 4 5 times ▶ * once
" こ (CO)" : Press 2 5 times
" も (MO)" : Press 7 5 times

▶ Use to move the cursor to prediction options ▶ Use to move the cursor to "ドコモ (DOCOMO)" ▶ [Set]

Manner Mode

#(for over 1 second) in Stand-by

Using Camera

Using Camera

Stand-by display ▶ ▶ Frame the shot and [Take] ▶ [Save]

Capturing Moving Pictures

Stand-by display ▶ ▶ [Mode] ▶ "Movie-mode" ▶ Frame the shot and [Rec.] ▶ [Stop] ▶ [Save]

Playing Music Data

Stand-by display ▶ ▶ "MUSIC" ▶ "MUSIC player" ▶ "All songs" ▶ Move the cursor to music data ▶ [Play]

Voice/Videophone Calls

Making Voice Calls

Enter a phone number ▶ ▶ To end the call,

Making Videophone Calls

Enter a phone number ▶ [V. phone] ▶ To end the call,

Receiving Voice Calls

Receive a voice call ▶ ▶ To end the call,

Receiving Videophone Calls

Receive a videophone call ▶ ▶ To end the call,

- /: Adjust the receiver volume
- : Place the call on hold
- [Image]: Answer with substitute image

Main Operations during Videophone Calls

Place a call on hold/Cancel hold

[Menu] ▶ "Hold"

- [Active]: Cancel hold

Set/Cancel Hands-free call

[Spk ON]

- Press [Spk OFF] to cancel.

Switch between camera image/substitute image

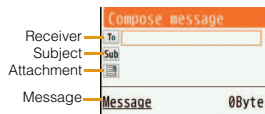
[Image]

- Press [Camera] to return to the camera image.

Public Mode (Drive Mode)

*(for over 1 second) in Stand-by

i-mode Mail

Composing/Sending i-mode Mail

Display the Compose message screen

Stand-by display ▶ ▶ "Compose message"

Enter a receiver

Select To field ▶ "Direct input" ▶ Enter an address

Enter a subject

Select Sub field ▶ Enter a subject

Enter a message

Select [Message] field ▶ Enter message text

■ **Send mail**
[Send]

Receiving i-mode Mail

i-mode mail arrives ▶ "Mail" ▶ Select a folder ▶ Select the i-mode mail to display

Checking New Messages

Stand-by display ▶ (for over 1 second)

Other Mail Functions

■ **Reply to mail**
Open the mail to reply ▶ [Menu] ▶ "Reply/Forward" ▶ "Reply"/"Reply with quote"* ▶ Enter subject and message text ▶ [Send]
* When "Reply" is selected, further select "i-mode mail" or "Decome-Anime".

■ **Forward mail**
Open the mail to forward ▶ [Menu] ▶ "Reply/Forward" ▶ "Forward" ▶ Enter an address ▶ [Send]

Composing/Sending SMS

Stand-by display ▶ ▶ "Compose SMS" ▶ Select TO field ▶ "Direct input" ▶ Enter a phone number ▶ Select field ▶ Enter message text ▶ [Send]

Network Services

Voice Mail Service

■ **Play messages**
Stand-by display ▶ MENU ▶ "Settings" ▶ "NW Services" ▶ "Voice mail" ▶ "Play messages" ▶ "Play(voice call)"/"Play(videophone)" ▶ "Yes" ▶ Follow the instructions of the voice guidance

■ **Activate Voice Mail Service**
Stand-by display ▶ MENU ▶ "Settings" ▶ "NW Services" ▶ "Voice mail" ▶ "Activate" ▶ "Yes" ▶ "Yes" ▶ Enter the ring time with dial keys ▶ [Done]

■ **Deactivate Voice Mail Service**
Stand-by display ▶ MENU ▶ "Settings" ▶ "NW Services" ▶ "Voice mail" ▶ "Deactivate" ▶ "Yes"

Call Waiting

■ **Activate Call Waiting**
Stand-by display ▶ MENU ▶ "Settings" ▶ "NW Services" ▶ "Call waiting" ▶ "Activate" ▶ "Yes"

■ **Deactivate Call Waiting**
Stand-by display ▶ MENU ▶ "Settings" ▶ "NW Services" ▶ "Call waiting" ▶ "Deactivate" ▶ "Yes"

■ **Hold the active call to answer another call**
A call arrives ▶

Call Forwarding Service

■ **Activate Call Forwarding Service**
Stand-by display ▶ MENU ▶ "Settings" ▶ "NW Services" ▶ "Call forwarding" ▶ "Activate" ▶ "Yes" ▶ "Register the forwarding number" ▶ ● [Select] ▶ Enter the phone number to forward ▶ [Done] ▶ "Set ring time" ▶ Enter the ring time with dial keys ▶ [Done]

■ **Deactivate Call Forwarding Service**
Stand-by display ▶ MENU ▶ "Settings" ▶ "NW Services" ▶ "Call forwarding" ▶ "Deactivate" ▶ "Yes"

Preparation for Overseas Use

i-mode Setting

■ **Set before leaving Japan**
Stand-by display ▶ ▶ "English" ▶ "Options" ▶ "International Settings" ▶ "i-mode services Settings" ▶ "Yes" ▶ Select the i-mode password field ▶ Enter i-mode password ▶ "Select"

■ **Set while overseas**
Stand-by display ▶ ▶ "English" ▶ "Options" ▶ "International settings" ▶ "i-mode services Settings" ▶ "Yes" ▶ Select the i-mode password field ▶ Enter i-mode password ▶ "Select"

Switching Networks

Setting Network Manually

Stand-by display ▶ MENU ▶ "Settings" ▶ "International roaming" ▶ "Network" ▶ "3G/GSM setting" ▶ "AUTO"/"3G"/"GSM/GPRS" ▶ "Network search mode" ▶ "Manual" ▶ "Yes" ▶ Select the network

Setting Preferred Networks

Stand-by display ▶ [MENU] ▶ "Settings" ▶ "International roaming" ▶ "Network" ▶ "PLMN setting" ▶ [iα][Add] ▶ "UPLMN manual select" ▶ Enter Country No. (MCC) and Network No. (MNC) ▶ [iα][Done] ▶ "Yes"

Setting After Returning to Japan

By default, when you return to Japan, the FOMA terminal automatically connects to the FOMA network.

■ **When not connecting to the FOMA network automatically**

Stand-by display ▶ [MENU] ▶ "Settings" ▶ "International roaming" ▶ "Network" ▶ "3G/GSM setting" ▶ "AUTO" ▶ "Network search mode" ▶ "Auto" ▶ "Yes"

International Call

Making an International Call from Overseas

Stand-by display ▶ [0](for over 1 second) ▶ Enter "Country code - Area code (City code) - Other party's phone number" ▶ [Call]

- Omit the leading "0" (zero) from the area code (city code), or from a phone number of Japanese mobile phone or PHS (in some countries or regions such as Italy, the leading "0" may be required).
- [iα][V. phone]: Make a videophone call

Making a Domestic Call while Overseas

Enter the phone number with the area code (city code) in the same way as in Japan ▶ [Call]

- [iα][V. phone]: Make a videophone call

Receiving a Call

Receive a voice/videophone call ▶ [Call]

Inquiries

General Inquiries <docomo Information Center>

(Business hours: 9:00 a.m. to 9:00 p.m.)

[Free dial] 0120-005-250 (toll free)

* Service available in: English, Portuguese, Chinese, Spanish, Korean.
* Unavailable from part of IP phones

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m. (open all year round))

■ From DOCOMO mobile phones (In Japanese only)

[Mobile] (No prefix) 151 (toll free)

* Unavailable from land-line phones, etc.

■ From land-line phones (In Japanese only)

[Free dial] 0120-800-000 (toll free)

* Unavailable from part of IP phones

Repairs

(Business hours: 24 hours (open all year round))

■ From DOCOMO mobile phones (In Japanese only)

[Mobile] (No prefix) 113 (toll free)

* Unavailable from land-line phones, etc.

■ From land-line phones (In Japanese only)

[Free dial] 0120-800-000 (toll free)

* Unavailable from part of IP phones

•Make sure that the number is correct before making a call.

Loss or theft of FOMA terminal or payment of cumulative cost overseas <docomo Information Center> (24 hours)

(In Japanese only)

■From DOCOMO mobile phones

International call access code for the country you stay **-81-3-6832-6600* (toll free)**

* From a land-line phone, international phone call charges to Japan apply.

*If you use L-01B, you should dial the number +81-3-6832-6600 (to enter '+', press and hold the '0' key for at least one second).

■From land-line phones <Universal Number>

Universal number international prefix **-8000120-0151***

* Domestic call charges for your overseas location may apply to calls.

● **If your FOMA terminal is lost or stolen, contact DOCOMO immediately and temporarily halt your subscription. Note that call/communication fees incurred after the FOMA terminal was lost or stolen will be charged to you.**

Failures encountered overseas <Network Support and Operation Center> (24 hours)

■From DOCOMO mobile phones

International call access code for the country you stay **-81-3-6718-1414* (toll free)**

* From a land-line phone, international phone call charges to Japan apply.

*If you use L-01B, you should dial the number +81-3-6718-1414 (to enter '+', press and hold the '0' key for at least one second).

■From land-line phones <Universal Number>

Universal number international prefix **-8005931-8600***

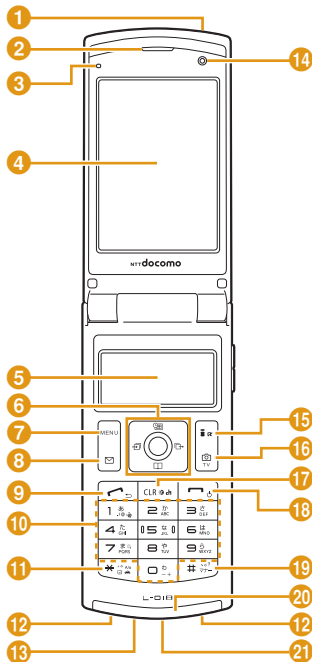
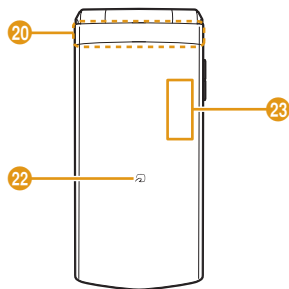
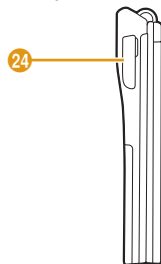
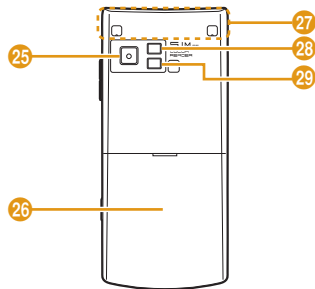
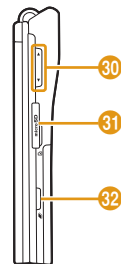
* Domestic call charges for your overseas location may apply to calls.

● **If the FOMA terminal which you purchased is broken, please bring it to a repair counter specified by DOCOMO after you return to Japan.**

각 부의 명칭과 기능

■ 앞면

■ 앞면(휴대전화의 덮개를 닫은 경우)

■ 뒷면

■ 왼쪽면

■ 오른쪽면

1	적외선 포트	9	통화 버튼	17	취소/i-Channel 버튼	25	아웃 카메라
2	이어폰/스피커	10	다이얼 버튼	18	전원/종료 버튼	26	배터리 커버
3	밝기 센서	11	공공모드(드라이브모드) 버튼	19	매너 모드 버튼	27	FOMA 안테나
4	화면	12	전원 충전부	20	외부 디스플레이	28	포토 라이트/라이트
5	터치 보드	13	마이크	21	액세서리 연결부	29	컬러리더
6	네비게이션 버튼	14	인 카메라	22	마크	30	볼륨 버튼
7	메뉴 버튼	15	i-mode/i-αppli 버튼	23	외부 LED	31	microSD card(메모리 삽입부)
8	Mail 버튼	16	카메라/TV 버튼	24	외부 단자 연결부	32	멀티태스킹 버튼

다국어 전환

화면을 영어나 한국어 표시로 전환하기

대기 화면 ▶ MENU ▶ "設定(설정)" ▶ "Select language" ▶ "日本語(일본어)"/"English"/"**한국어**"

SMS 본문에서 입력 모드 전환하기

한국어를 지원하는 단말기 간에 한국어로 입력된 SMS를 송수신할 수 있습니다. 한국어를 입력하려면 "일/한(70문자)"으로 설정하십시오.

대기 화면 ▶ ✉ ▶ "Mail설정" ▶ "SMS설정" ▶ "SMS 본문입력" ▶ "일본어(70문자)"/"일/한(70문자)"/"영어(160문자)"

전화번호부 등록

대기 화면 ▶ (1초 이상) ▶ 항목을 각각 입력 ▶ [완료]

■ 등록처 설정

"저장메모리" ▶ "휴대폰"/"UIM"

■ 메모리 번호 설정

"메모리번호" ▶ 메모리 번호 입력

■ 이름 설정

"이름" ▶ 이름 입력

■ 후리가나 설정

"후리가나" ▶ 후리가나 입력

■ 전화번호 설정

"전화번호" ▶ "직접입력" ▶ 전화번호 입력 ▶ 아이콘 선택

■ Mail 주소 설정

"Mail주소" ▶ Mail 주소 입력 ▶ 아이콘 선택

■ 그룹 설정

"그룹" ▶ 그룹 선택

문자 입력

입력 가능한 남은 문자 수 (바이트 수) 표시

입력 모드 표시

* "韓" 은 "SMS 본문입력"을 "일/한(70문자)"으로 설정한 경우에 표시됩니다.

문자 입력 화면에서의 주요 조작

■ 입력 모드 전환하기
[문자] ▶ [전환] 여러 번 누르기

■ 전각/반각 전환하기
[문자] ▶ [전각/반각]

■ 그림 문자/기호/이모티콘 입력 모드로 전환하기
[기호] ▶ [전환] 여러 번 누르기

■ 탁음, 반탁음 입력/대문자 또는 소문자 전환
문자를 입력하고 * 여러 번 누르기

■ 구두점 입력
여러 번 누르기

■ 줄바꾸기 입력
*/

■ Space 입력
[Menu] ▶ "특수입력" ▶ "공백"/문장 끝에서

문자 입력 예

■ "ドコモ (도코모)" 입력하기
"どこも (DOCOMO)" 입력

" ど (도)" : 4 5회 ▶ * 1회

" こ (코)" : 2 5회

" も (모)" : 7 5회

▶ 으로 커서를 예측 후보로 이동 ▶ 으로 커서를 "ドコモ (도코모)"로 이동 ▶ ●[완료]

■ 한국어로 "도코모" 입력하기
"도코모" 입력

"도" : 2 1회 ▶ * 1회 ▶ 6 1회

"코" : 1 1회 ▶ * 1회 ▶ 6 1회

"모" : 5 1회 ▶ 6 1회

매너모드
대기 화면에서 #(1초 이상)

카메라 기능

정지 화상 촬영
대기 화면 ▶ ▶ 피사체를 확인하고 ● [촬영] ▶ ● [저장]

동영상 촬영
대기 화면 ▶ ▶ [카메라모드] ▶ "비디오촬영" ▶ 피사체를 확인하고 ● [녹화] ▶ ● [정지] ▶ ● [저장]

음악 데이터 재생
대기 화면 ▶ ▶ "MUSIC" ▶ "뮤직플레이어" ▶ "전곡" ▶ 음악 데이터로 커서 이동 ▶ ● [재생]

음성 / 영상통화

음성통화 걸기
상대의 전화번호 입력 ▶ ▶ 통화가 끝나면

영상통화 걸기
상대의 전화번호 입력 ▶ [영상통화] ▶ 통화가 끝나면

음성통화 받기
음성통화 착신 ▶ ▶ 통화가 끝나면

영상통화 받기
영상통화 착신 ▶ ▶ 통화가 끝나면

- ▲/▼: 수화음량 조절하기
- : 응답 보류하기
- ●[대체화면]: 대체 영상으로 응답하기

영상통화 중의 주요 조작

■ 통화 보류/보류 해제
[Menu] ▶ "통화보류"

- ●[통화]: 보류 해제하기

■ 스피커폰 통화 설정/해제
●[Spk ON]

- ●[Spk OFF]를 누르면 해제됩니다.

■ 카메라 영상/대체화면 영상 전환
[대체화면]

- [카메라]를 누르면 카메라 영상으로 되돌아갑니다.

공공모드(드라이브모드)
대기 화면에서 *(1초 이상)

i-mode Mail

i-mode Mail 작성/송신

■ 새 Mail 작성 화면 표시
대기 화면 ▶ ▶ "새Mail작성"

■ 주소 입력
To 열 선택 ▶ "직접입력" ▶ 주소 입력

■ 건명 입력
Sub 열 선택 ▶ 건명 입력

■ 내용 입력
[Message] 열 선택 ▶ 내용 입력

■ Mail 송신

[i][송신]

i-mode Mail 수신

i–mode Mail 수신 ▶ "Mail" ▶ 폴더 선택 ▶ 표시할 i–mode Mail 선택

i-mode메시지확인

대기 화면 ▶ [✉](1초 이상)

기타 Mail 기능

■ Mail 회신

회신할 Mail 표시 ▶ [MENU][Menu] ▶ "답장/전달" ▶ "답장"/"인용첨부답장"* ▶ 건명, 내용 입력 ▶ [i][송신]

* "답장"을 선택한 후, " i-mode Mail " 또는 "Decome 그림"을 선택

■ Mail 전달

전달할 Mail 표시 ▶ [MENU][Menu] ▶ "답장/전달" ▶ "전달" ▶ 주소 입력 ▶ [i][송신]

SMS 작성/송신

대기 화면 ▶ [✉] ▶ "새SMS작성" ▶ [TO] 열 선택 ▶ "직접입력" ▶ 전화번호 입력 ▶ [📝] 열 선택 ▶내용 입력 ▶ [i][송신]

네트워크 서비스

음성사서함서비스

■ 음성사서함메시지재생

대기 화면 ▶ [MENU] ▶ "설정" ▶ "네트워크서비스" ▶ "음성사서함서비스" ▶ "음성사서함메시지재생" ▶ "재생(음성통화)"/"재생(영상통화)" ▶ "예" ▶ 음성 안내에 따라 실행

■ 음성사서함서비스시작

대기 화면 ▶ [MENU] ▶ "설정" ▶ "네트워크서비스" ▶ "음성사서함서비스" ▶ "음성사서함서비스시작" ▶ "예" ▶ "예" ▶ 다이얼 버튼으로 호출 시간 입력 ▶ [i][완료]

■ 음성사서함서비스정지

대기 화면 ▶ [MENU] ▶ "설정" ▶ "네트워크서비스" ▶ "음성사서함서비스" ▶ "음성사서함서비스정지" ▶ "예"

통화중대기서비스

■ 통화중대기서비스시작

대기 화면 ▶ [MENU] ▶ "설정" ▶ "네트워크서비스" ▶ "통화중대기" ▶ "통화중대기서비스시작" ▶ "예"

■ 통화중대기서비스정지

대기 화면 ▶ [MENU] ▶ "설정" ▶ "네트워크서비스" ▶ "통화중대기" ▶ "통화중대기서비스정지" ▶ "예"

■ 통화를 보류하고 걸려온 전화 받기

전화가 걸려오면 ▶ [↗]

전송전화서비스

■ 전송전화서비스시작

대기 화면 ▶ [MENU] ▶ "설정" ▶ "네트워크서비스" ▶ "전송전화서비스" ▶ "전송전화서비스시작" ▶ "예" ▶ "전송전화번호변경" ▶ [●][선택] ▶ 전송전화번호 입력 ▶ [i][완료] ▶ "호출시간설정" ▶ 다이얼 버튼으로 호출시간 입력 ▶ [i][완료]

■ 전송전화서비스정지

대기 화면 ▶ [MENU] ▶ "설정" ▶ "네트워크서비스" ▶ "전송전화서비스" ▶ "전송전화서비스정지" ▶ "예"

해외에서 이용하기 위한 준비

i-mode 설정

■ 일본에서 설정

대기 화면 ▶ [i] ▶ "English(영어)" ▶ "Options(옵션)" ▶ "International Settings(해외이용설정)" ▶ "i-mode services Settings(i-mode 이용설정)" ▶ "Yes(예)" ▶ Select the i-mode password field(i-mode패스워드 입력란 선택) ▶ Enter i-mode password(i-mode패스워드 입력) ▶ "Select(선택)"

■ 해외에서 설정

대기 화면 ▶ [i] ▶ "English(영어)" ▶ "Options(옵션)" ▶ "International settings(해외이용설정)" ▶ "i-mode services Settings(i-mode 이용설정)" ▶ "Yes(예)" ▶ Select the i-mode password field(i-mode패스워드 입력란 선택) ▶ Enter i-mode password(i-mode패스워드 입력) ▶ "Select(선택)"

네트워크 전환

수동으로 네트워크 설정

대기 화면 ▶ [MENU] ▶ "설정" ▶ "국제로밍" ▶ "네트워크" ▶ "3G/GSM 전환" ▶ "자동"/"3G"/"GSM/GPRS" ▶ "네트워크검색설정" ▶ "수동" ▶ "예" ▶ 네트워크 선택

우선적으로 이용할 네트워크 설정

대기 화면 ▶ MENU ▶ "설정" ▶ "국제로밍" ▶ "네트워크" ▶ "우선네트워크설정" ▶ iα[추가] ▶ "수동으로 선택" ▶ 국가번호와 네트워크번호 입력 ▶ iα[완료] ▶ "예"

귀국 후 설정

구입 시에는 귀국 후 자동으로 FOMA 네트워크에 접속되도록 설정되어 있습니다.

■ **FOMA 네트워크로 전환되지 않는 경우**

대기 화면 ▶ MENU ▶ "설정" ▶ "국제로밍" ▶ "네트워크" ▶ "3G/GSM 전환" ▶ "자동" ▶ "네트워크검색설정" ▶ "자동" ▶ "예"

국제 전화

일본이나 체재 국가 이외의 나라로 전화 걸기

대기 화면 ▶ 0(1초 이상) ▶ "국가번호 - 지역번호(시외국번) - 상대 전화번호" 입력 ▶ 통화

- 지역번호(시외국번)의 첫 번째 숫자가 "0" 인 경우나 일본 휴대폰 · PHS인 경우에는 "0" 을 빼고 입력합니다.(이탈리아 등 일부 국가 및 지역에서는 "0" 이 필요한 경우가 있습니다.)
- iα[영상통화]: 영상통화 발신하기

체재 국가 내에 전화 걸기

일본 국내와 마찬가지로 상대 전화번호를 지역번호(시외국번)부터 입력 ▶ 통화

- iα[영상통화]: 영상통화 발신하기

전화 받기

음성통화/영상통화 착신 ▶ 통화

문의 정보

종합 문의처 <도코모 인포메이션 센터>

(이용시간: 오전 9:00부터 오후 9:00까지)

0120-005-250 (무료)

* 영어, 포르투갈어, 중국어, 스페인어, 한국어로 지원됩니다.
* 일부 IP전화는 사용불가

(이용시간:오전 9:00부터 오후 8:00까지(연중무휴))

■ 도코모 휴대폰 사용 시(일본어 전용) ■ 일반 전화 사용 시(한국어)

(국번없이) 151 (무료) 0120-800-000 (무료)

* 일반 전화로는 이용할 수 없습니다. * 일부 IP전화는 사용불가

고장 문의처

(이용시간: 24시간(연중무휴))

■ 도코모 휴대폰 사용 시(일본어 전용) ■ 일반 전화 사용 시(일본어 전용)

(국번없이) 113 (무료) 0120-800-000 (무료)

* 일반 전화로는 이용할 수 없습니다. * 일부 IP전화는 사용불가

- 다이얼 번호를 잘 확인하여 잘못 걸지 않도록 주의하십시오.

해외에서의 분실, 도난, 정산 정보 <도코모 인포메이션 센터> (24시간 접수)

(일본어 전용)

■ 도코모 휴대폰 사용 시

체재 국가의 국제 전화 접속 번호	**-81-3-6832-6600* (무료)**

* 일반 전화 등으로 거실 경우에는 일본으로의 통화 요금이 부과됩니다.

*L-01B로 이용하는 경우에는 +81-3-6832-6600로 연결됩니다. ("+"는 "0"버튼을 1초 이상 누릅니다.)

■ 일반 전화 사용 시<유니버셜 넘버>

유니버셜 넘버용 국제 식별 번호	**-8000120-0151***

* 체재 국가 내 통화 요금 등이 부과되는 경우가 있습니다.

● **분실 · 도난 등의 경우에는 신속히 이용정지를 신청하십시오. 분실 · 도난 이후에 발생한 통화 · 통신료도 고객님께서 부담하게 되므로 주의하십시오.**

해외에서의 고장 정보 <네트워크 지원 및 오퍼레이션 센터> (24시간 접수)

■ 도코모 휴대폰 사용 시

체재 국가의 국제 전화 접속 번호	**-81-3-6718-1414* (무료)**

* 일반 전화 등으로 거실 경우에는 일본으로의 통화 요금이 부과됩니다.

*L-01B로 이용하는 경우에는 +81-3-6718-1414로 연결됩니다. ("+"는 "0"버튼을 1초 이상 누릅니다.)

■ 일반 전화 사용 시<유니버셜 넘버>

유니버셜 넘버용 국제 식별 번호	**-8005931-8600***

* 체재 국가 내 통화 요금 등이 부과되는 경우가 있습니다.

● **고객이 구입한 FOMA 단말기가 고장난 경우에는 귀국 후에 도코모 지정 AS 센터로 가져 오십시오.**

索引

あ

か

さ

や

ら

わ

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

iモードから　iMenu ▶ お客様サポート ▶ お申込・お手続き ▶ 各種お申込・お手続き　パケット通信料無料

パソコンから　My docomo（http://www.mydocomo.com/）▶ 各種お申込・お手続き

※iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※iモードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーも一緒に携帯しましょう

公共の場所で携帯電話をご利用の際は周囲の心くばりを忘れずに。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

- 航空機内、病院内や電車などの優先席付近では、必ず携帯電話の電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合

- 運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

■劇場・映画館・美術館など、公共の場所にいる場合

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して、撮影や画像送信を行う際はプライバシーなどにご配慮ください。

ドコモの環境への取組み

取扱説明書の薄型化

本書では、基本的な機能の操作について説明することにより、取扱説明書の薄型化を図り、紙の使用量を削減いたしました。よく使われる機能や詳しい説明については、使いかたガイド（本FOMA端末に搭載）やドコモのホームページでご確認いただけます。

携帯電話の回収・リサイクル

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するためにお客さまが不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカー問わず左記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っております。お近くのドコモショップへお持ちください。

- この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用いただけません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9:00～午後8:00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用いただけません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、iモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/　　iモードサイト　iMenu▶お客様サポート▶ドコモショップ

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6832-6600*（無料）

*一般電話などからかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※L-01Bからご利用の場合は+81-3-6832-6600でつながります（「+」は「0」キーを1秒以上押します）。

一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8000120-0151*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外での故障について
〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6718-1414*（無料）

*一般電話などからかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※L-01Bからご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります（「+」は「0」キーを1秒以上押します）。

一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8005931-8600*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　LG Electronics Inc.

環境保全のため、不要になった電池はNTT ドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

大豆油インキを使用しています。

再生紙を使用しています　Printed in Korea

'10.5（2版）
MMBB0360007

L-01B パソコン接続マニュアル

パソコン接続マニュアルについて

本マニュアルでは、L-01Bでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「L-01B通信設定ファイル（ドライバ）」「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール方法などを説明しています。お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

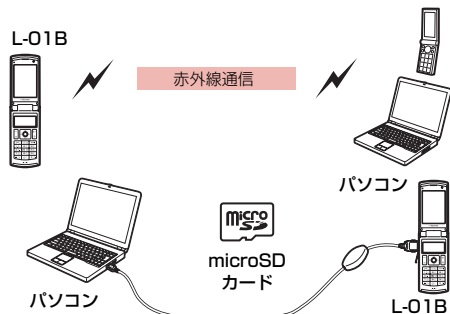
データ通信

FOMA端末から利用できるデータ通信

FOMA端末をパソコンと接続して、パケット通信とデータ転送（OBEX™通信）によるデータ通信をご利用いただけます。

- 64Kデータ通信には対応していません。
- Remote Wakeupには対応していません。
- FAX通信はサポートしていません。
- ドコモのPDA「sigmarionⅢ」には対応していません。

データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）
- microSDカード
- ドコモケータイdatalink

お知らせ

- FOMA端末で全件データ受信時、通信が中断され全件転送できない場合は、FOMA端末内のデータを全件削除してから再度操作してください。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる※1通信方式です。ネットワークに接続したままの状態で必要なときにのみデータを送受信する使いかたに適しています。通信環境やネットワークの混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAパケット通信に対応した接続先を利用して、受信時最大7.2Mbps／送信時最大5.7Mbps（ベストエフォート方式）※2の高速通信を行うことができます。

※1 多量のデータ通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

※2 ・最大7.2Mbps・最大5.7Mbpsとは、技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や、通信環境により異なります。
・FOMA ハイスピードエリア外や HIGH-SPEED に対応していないアクセスポイントに接続するときは、通信速度が遅くなる場合があります。

L-01Bは、海外でも3GまたはGPRSのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、データ通信ができます。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）に対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。

接続先（プロバイダなど）の設定について

パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- 「mopera」のサービス内容および接続設定方法については「mopera」のホームページをご確認ください。
http://www.mopera.net/mopera/index.html

パケット通信の条件

FOMA端末とパソコンなどを接続して通信を行うには、次の条件※が必要になります。ただし、条件が整っていても基地局の混雑状況や電波状態によって通信できないことがあります。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）が利用できるパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること

※ 日本国内の場合です。

ご使用になる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は次のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	• PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 • USBポート(Universal Serial Bus Specification Rev1.1/2.0準拠) • ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color（65,536色）以上を推奨
OS※1※2	• Windows Vista、Windows XP、Windows 2000（各日本語版）
必要メモリ※3	• Windows Vista：512Mバイト以上 • Windows XP：128Mバイト以上 • Windows 2000：64Mバイト以上
ハードディスク容量※3※4	• 5Mバイト以上の空き容量

※1 OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
※2 動作環境の詳細はドコモホームページをご確認ください。
※3 必要メモリ、ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。
※4 ドコモ コネクションマネージャは、10Mバイト以上の空き容量が必要です。

- メニューが動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer7.0以降です。
  CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
  ①「(スタート)」▶「コンピュータ」を順にクリックする
  ■ Windows XPの場合
  「スタート」▶「マイコンピュータ」を順にクリックする
  ■ Windows 2000の場合
  デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックする
  ② CD-ROMのアイコンを右クリック▶「開く」を選択
  ③「index.html」をダブルクリックする
  ※ Windows XP／2000の場合、推奨環境はMicrosoft Internet Explorer6.0以降です。
- 付属のCD-ROMをパソコンにセットすると、警告画面が表示される場合があります。この警告は、Microsoft Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。[はい] をクリックしてください。

必要な機器について

データ通信を利用するには、FOMA端末とパソコン以外に次の機器、およびソフトウェアが必要です。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- L-01B用CD-ROM（付属品）

お知らせ

- USBケーブルは、専用のFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02、またはFOMA USB接続ケーブルをお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

データ転送（OBEX™通信）の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）をご利用になる場合には、L-01B通信設定ファイルをインストールしてください。

L-01B通信設定ファイルをダウンロード、インストールする

- 付属のCD-ROMからインストール

または

- ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

データ転送

データ通信の準備の流れ

FOMA端末とパソコンを接続してパケット通信を利用する場合の準備の流れは次のとおりです。

FOMA端末の「USBモード設定」が「通信モード」に設定されていることを確認する→P3

FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続する→P3

L-01B通信設定ファイルをダウンロード、インストールする

- 付属のCD-ROMからインストール

または

- ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

インストール後の確認をする→P9

ドコモ コネクションマネージャを使用して接続先を設定する→P10

ドコモ コネクションマネージャを使用しないで接続先とダイヤルアップネットワークを設定する→P14

接続する→P21

L-01B通信設定ファイルとドコモ コネクションマネージャについて

L-01B通信設定ファイル（ドライバ）
FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02で接続して、パケット通信やファイル転送をするために必要なソフトウェア（ドライバ）です。

ドコモ コネクションマネージャ
パケット通信の接続先（APN）やダイヤルアップなどの設定を簡単に行うためのソフトウェアです。

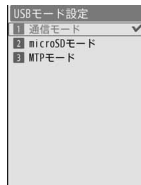
FOMA端末とパソコンを接続する

FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続する方法について説明します。

USBモード設定

USBモードを設定する

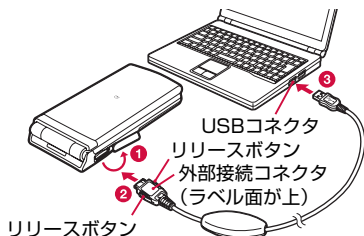
FOMA端末の「USBモード設定」を「通信モード」にします。

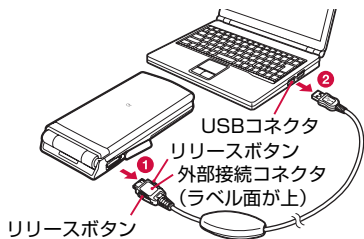
1 MENU▶「設定」▶「その他」▶「USBモード設定」

2 「通信モード」

FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続する

1 FOMA端末の外部接続端子カバーを開け（❶）、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02の外部接続コネクタをラベル面を上にしてまっすぐ「カチッ」と音がするまで差し込む（❷）

2 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02のUSBコネクタをパソコンのUSB端子に接続する（❸）

次のページへ続く

取り外しかた

① FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）の外部接続コネクタのリリースボタンを押しながら、まっすぐ引き抜く（❶）

② パソコンのUSB端子からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を引き抜く（❷）

お知らせ

- 通信の切断、誤動作、データ消失の原因となるため、データ通信中にFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を取り外さないでください。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02のコネクタは無理に接続しないでください。故障の原因となります。各コネクタの向きや角度が正しくないと、接続できません。各コネクタの向きや角度が正しいときは、強い力を入れなくてもスムーズに接続できるようになっています。うまく接続できないときは、無理に行わずに、もう一度コネクタの向きや角度、形状などを確認してください。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02は無理に取り外さないでください。無理に引っ張ろうとすると故障の原因となります。

インストール／アンインストール時の注意点

L-01B通信設定ファイル（ドライバ）やドコモ コネクションマネージャのインストール／アンインストール時は、次の点にご注意ください。

- インストール／アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストール／アンインストールを行うとエラーになります。パソコンの管理者権限に関する設定や操作については、各パソコンメーカまたはマイクロソフト社にお問い合わせください。
- インストール／アンインストールを行う前に、他のソフトウェアが稼動していないことを確認してください。稼動している場合は、ソフトウェアを終了させてから行ってください。

■ Windows Vistaの場合

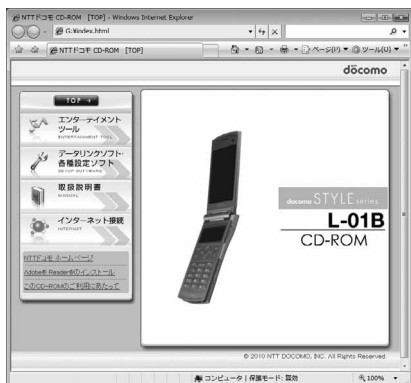
「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「許可」または「続行」をクリックするか、パスワードを入力して［OK］をクリックしてください。パソコンの管理者権限に関する設定や操作については、各パソコンメーカまたはマイクロソフト社にお問い合わせください。

L-01B通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

FOMA端末とパソコンをはじめてFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続する場合は、L-01B通信設定ファイルをインストールしておく必要があります。

- L-01B通信設定ファイルのインストールは、必ずFOMA端末とパソコンが接続されていない状態で開始してください。
- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール時の注意点」（P4）を参照してください。

Windows Vistaにインストールする場合

1 L-01B用CD-ROMをパソコンにセットする

「L-01B CD-ROM」画面が表示されます。

- パソコンの設定によっては、表示されない場合があります。その場合は、操作3に進みます。

2 画面右上の[×]をクリックする

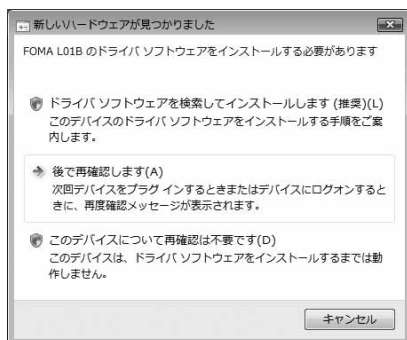
「L-01B CD-ROM」画面が消えます。

3 パソコンとFOMA端末を接続する

パソコンの画面のタスクバーから「新しいハードウェアが見つかりました」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。

- 接続方法→P3
- FOMA端末の電源が入っている状態で接続してください。

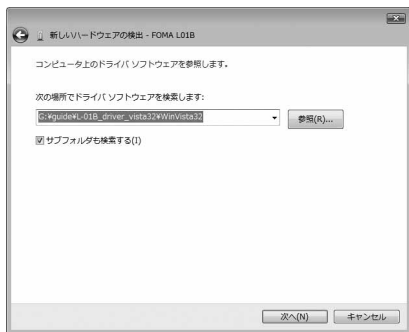
4 「ドライバソフトウェアを検索してインストールします(推奨)」をクリックする

- クリック後、パソコンの画面のタスクバーから「デバイス　ドライバソフトウェアをインストールしています」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。
- L-01B通信設定ファイルを同じパソコンに2回以上インストールした場合は、次の画面が表示されず、パソコンの画面のタスクバーから「デバイス　ドライバソフトウェアが正しくインストールされました」というポップアップメッセージが数秒間表示され、自動的にインストールが完了することがあります。
  その場合は、続いてL-01B通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認してください。→P9

5 「ディスクはありません。他の方法を試します」をクリックする

次のページへ続く

6 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します(上級)」をクリックする

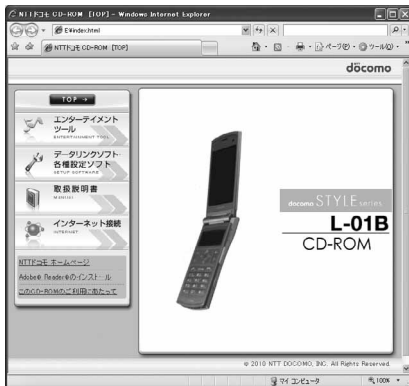
7 L-01B通信設定ファイル(ドライバ)の検索先を入力 ▶[次へ]をクリックする

検索先として、「次の場所でドライバソフトウェアを検索します」欄に「<CD-ROMドライブ名>:¥guide¥L-01B_driver_vista32¥WinVista32」と入力します。

8 インストールの終了画面で[閉じる]をクリックする

この後、操作6〜8を2回行い、L-01B通信設定ファイルをすべてインストールします。

すべてのL-01B通信設定ファイルのインストールが完了すると、パソコンの画面のタスクバーから「デバイス　ドライバソフトウェアが正しくインストールされました」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。
続いて、L-01B通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認してください。→P9

Windows XPにインストールする場合

1 L-01B用CD-ROMをパソコンにセットする

「L-01B CD-ROM」画面が表示されます。

- パソコンの設定によっては、表示されない場合があります。その場合は、操作3に進みます。

2 画面右上の☒をクリックする

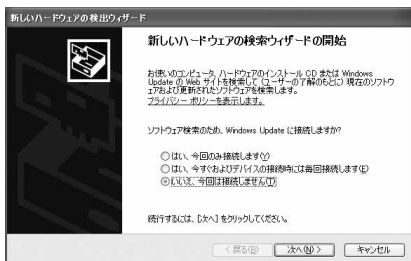
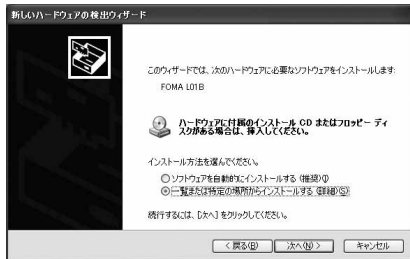
「L-01B CD-ROM」画面が消えます。

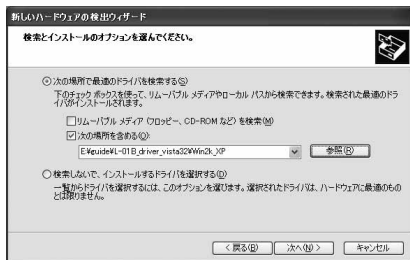
3 パソコンとFOMA端末を接続する

パソコンの画面のタスクバーから「新しいハードウェアが見つかりました」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。

- 接続方法→P3
- FOMA端末の電源が入っている状態で接続してください。

4 「いいえ、今回は接続しません」を選択▶[次へ]をクリックする

次のページへ続く

5 「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択▶[次へ]をクリックする

6 「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択▶「リムーバブル メディア(フロッピー、CD-ROMなど)を検索」のチェックを外す▶「次の場所を含める」にチェックを入れる▶L-01B通信設定ファイル(ドライバ)の検索先を入力▶[次へ]をクリックする

検索先として、「次の場所を含める」欄に「<CD-ROMドライブ名>:¥guide¥L-01B_driver_vista32¥Win2k_XP」と入力します。

■ 最適なソフトウェアの選択画面が表示された場合

パソコンの状況によっては、次のような画面が表示される場合があります。
その場合は「<CD-ROMドライブ名>:¥guide¥L-01B_driver_vista32¥Win2k_XP」を選択▶［次へ］をクリックして、インストールを続けてください。

7 新しいハードウェアの検索ウィザードの完了画面で[完了]をクリックする

この後、操作4～7を2回行い、L-01B通信設定ファイルをすべてインストールします。

すべてのL-01B通信設定ファイルのインストールが完了すると、パソコンの画面のタスクバーから「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。
続いて、L-01B通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認してください。→P9

Windows 2000にインストールする場合

1 L-01B用CD-ROMをパソコンにセットする

「L-01B CD-ROM」画面が表示されます。

- パソコンの設定によっては、表示されない場合があります。その場合は、操作3に進みます。

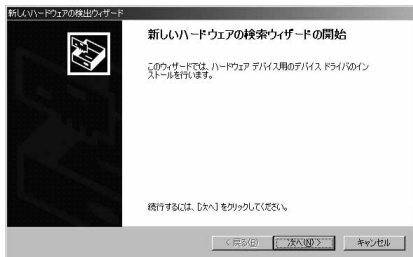
2 画面右上の☒をクリックする

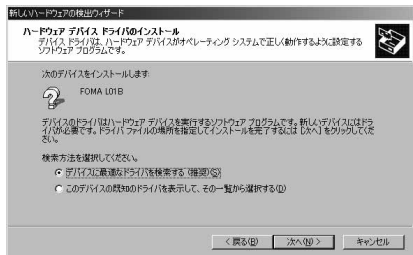
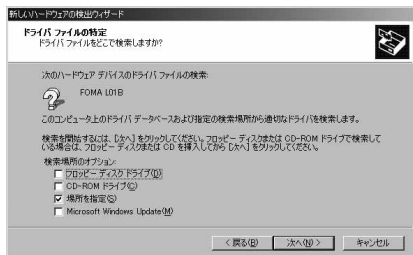
「L-01B CD-ROM」画面が消えます。

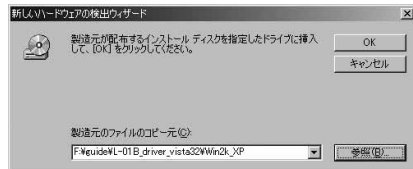
3 パソコンとFOMA端末を接続する

「新しいハードウェアが見つかりました」画面が数秒間表示されます。

- 接続方法→P3
- FOMA端末の電源が入っている状態で接続してください。

次のページへ続く

4 [次へ]をクリックする

5 「デバイスに最適なドライバを選択する(推奨)」を選択▶[次へ]をクリックする

6 「場所を指定」を選択▶[次へ]をクリックする

7 L-01B通信設定ファイル(ドライバ)の検索先を入力▶[OK]をクリックする

検索先として、「製造元のファイルのコピー元」欄に「<CD-ROMドライブ名>:¥guide¥L-01B_driver_vista32¥Win2k_XP」と入力します。

8 ドライバ名を確認▶[次へ]をクリックする

9 新しいハードウェアの検索ウィザードの完了画面で[完了]をクリックする

この後、操作4〜9を2回行い、L-01B通信設定ファイルをすべてインストールします。

接続後、L-01B通信設定ファイルが自動的にインストールされます。
すべてのL-01B通信設定ファイルのインストールが完了すると、パソコンの画面のタスクバーから「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。
続いて、L-01B通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認してください。→P9

インストールしたL-01B通信設定ファイル（ドライバ）を確認する

L-01B通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認します。

例：Windows Vistaの場合

1 「（スタート）」▶「コントロールパネル」▶「システムとメンテナンス」を順にクリックする

■ Windows XPの場合

「スタート」▶「コントロールパネル」▶「パフォーマンスとメンテナンス」▶「システム」を順にクリックします。

■ Windows 2000の場合

「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」▶「システム」を順にクリックします。

2 「デバイスマネージャ」▶［続行］を順にクリックする

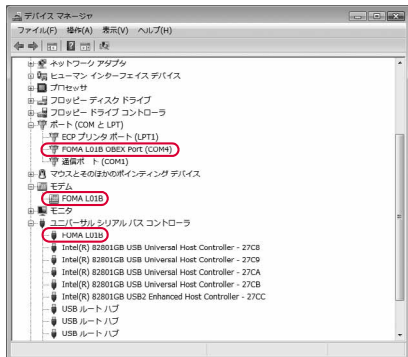
■ Windows XPの場合

「ハードウェア」タブをクリック▶［デバイスマネージャ］をクリックします。

■ Windows 2000の場合

「ハードウェア」タブをクリック▶「デバイスマネージャ」をクリックします。

3 各デバイス表示をクリックして、インストールされたドライバ名を確認する

「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」「ポート（COMとLPT）」「モデム」の各デバイスにすべてのドライバが表示されていることを確認します。

Windows Vistaの場合

デバイス表示	ドライバ名
ユニバーサルシリアルバスコントローラ	FOMA L01B
ポート（COMとLPT）	FOMA L01B OBEX Port
モデム	FOMA L01B

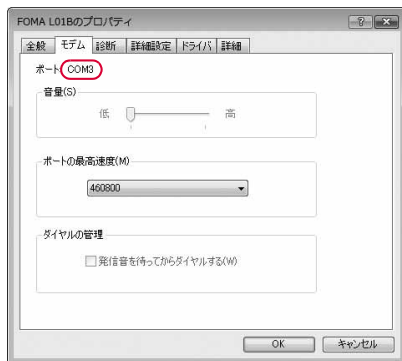
FOMA端末の通信ポート番号を確認するには

ドコモ コネクションマネージャを使わずに通信の設定を行うときなどに、FOMA端末のモデム名や通信ポート（COMポート）の番号が必要になる場合があります。デバイスマネージャ画面から確認する方法を説明します。

① **FOMA端末とパソコンを接続する**
- 接続方法→P3

② **「インストールしたL-01B通信設定ファイル（ドライバ）を確認する」の操作1～2を行う**

③ **「モデム」をクリック▶「FOMA L01B」を選択▶メニューバーから［操作］▶［プロパティ］を順にクリック▶「モデム」タブをクリックする**

「ポート:」の右側にFOMA端末のCOMポート番号が表示されます。

L-01B通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

L-01B通信設定ファイルのアンインストールが必要な場合は、次の手順で行います。

- L-01B通信設定ファイルのアンインストールは、必ずFOMA端末とパソコンが接続されていない状態で開始してください。
- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール時の注意点」（P4）を参照してください。

例：Windows Vistaの場合

1 「（スタート）」▶「コントロールパネル」▶「プログラムのアンインストール」を順にクリックする

「プログラムのアンインストールまたは変更」画面が表示されます。

■ Windows XPの場合
「スタート」▶「コントロールパネル」▶「プログラムの追加と削除」を順にクリックします。

■ Windows 2000の場合
「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」を順にクリック▶「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。

2 「FOMA L01B USB」を選択▶「続行」をクリックする

■ Windows XP／2000の場合
「FOMA L01B USB」を選択▶「変更と削除」をクリックします。

3 ［OK］をクリックする

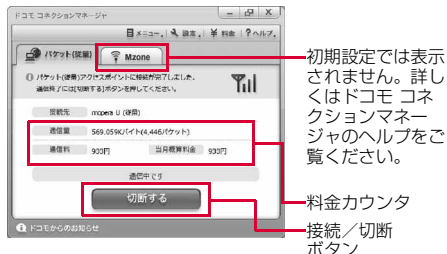
4 アンインストールの確認画面で［OK］をクリックする

アンインストールが終了します。

お知らせ

- L-01B通信設定ファイルをインストールするときに、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）が外れたり、パソコンで［キャンセル］を押してインストールを中止したりすると、正常にインストールされない場合があります。このような場合は、アンインストールの操作を行ってL-01B通信設定ファイルを一度削除してから、再度インストールしてください。

ドコモ コネクションマネージャについて

「ドコモ コネクションマネージャ」は、定額データ通信および従量データ通信を行うのに便利なソフトウェアです。「mopera U」のお申し込みや、お客様のご契約状況に応じたパソコンの設定を簡単に行うことができます。
また、料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認することもできます。

本書では、ドコモ コネクションマネージャのインストール方法までをご案内いたします。

端末を使ってインターネットに接続するためには、サービスおよびデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダ（「mopera U」など）のご契約が必要です。
詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

お知らせ

<従量制データ通信（ｉモードパケット定額サービスなど含む）のご利用について>

- パケット通信を利用して、画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロード（例：アプリケーションや音楽・動画データ、OS・ウイルス対策ソフトのアップデート）などのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額となる場合がありますのでご注意ください。
  なお、本FOMA端末をパソコンなどにUSBケーブルで接続してデータ通信を行う場合は、FOMAのパケット定額サービス「パケ・ホーダイ」、「パケ・ホーダイフル」、「Biz・ホーダイ」の定額対象外通信となりますのでご注意ください。

<定額データプランのご利用について>

- 定額データプランを利用するには、定額データ通信に対応した料金プラン・インターネットサービスプロバイダにご契約いただく必要があります。詳しくはドコモのホームページをご確認ください。

<moperaのご利用について>

- 接続設定方法については「mopera」のホームページをご確認ください。
  http://www.mopera.net/mopera/support/index.html

ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に

インストールの流れ

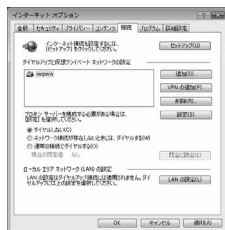
① FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02(別売)または USBケーブルを用意する

② サービスおよびインターネットサービスプロバイダの契約内容を確認する

③ ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトがインストールされている場合は、必要に応じて自動的に起動しないように設定を変更する

• 「ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について」→P11

Internet Explorerの設定について

本ソフトをインストールする前に、Internet Explorerのインターネットオプションで、接続の設定を［ダイヤルしない］に設定してください。

① Internet Explorerを起動し、［ツール］▶［インターネットオプション］を選択する
② ［接続］タブを選択し、［ダイヤルしない］を選択する
③ ［OK］をクリックする

お知らせ

<ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について>

本ソフトには、以下のソフトと同等の機能が搭載されているため、以下のソフトを同時にご利用いただく必要はありません。

※ 必要に応じて、起動しない設定への変更やアンインストールを実施してください。

- mopera Uかんたんスタート
- Uかんたん接続設定ソフト
- FOMA PC設定ソフト
- FOMAバイトカウンタ

また、本ソフトでMzone（公衆無線LAN接続）を利用する場合は、以下の公衆無線LAN接続ソフトはアンインストールを行ってください。

※ 以下のソフトを同時にインストールした場合、本ソフトでのMzone接続はご利用いただけません。

- U公衆無線LANユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線LANユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線LANユーティリティプログラム

1 ドコモ コネクションマネージャを使用するユーザーでログオンする

■ Windows Vistaの場合

管理者アカウントが必要です。管理者アカウント以外でログオンしている場合は、インストールの途中で、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

■ Windows XP／2000の場合

Administratorsグループに所属しているユーザーや「コンピュータの管理者」のユーザーでログオンします。

2 起動しているアプリケーションをすべて終了する

ウイルスチェックソフトを含む、Windows上に常駐しているプログラムも終了します。

- 例：タスクバーに表示されているアイコンを右クリックし、［閉じる］または［終了］を選択します。

ドコモ コネクションマネージャをインストールする

1 L-01B用CD-ROMの案内に従ってインストーラーを起動する

L-01B通信設定ファイル（ドライバ）がインストールされていない場合は、ドコモ コネクションマネージャをインストールする前にドライバをインストールします。
「L-01B通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする」→P5

既にドライバがインストールされている場合は、「インターネット接続」▶「本CD-ROMからのFOMAデータ通信の設定方法」の項目③にある「インストール」からドコモ コネクションマネージャをインストールすることができます。

お知らせ

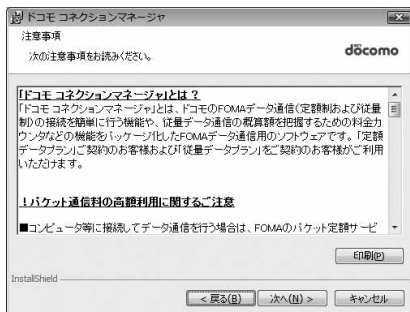
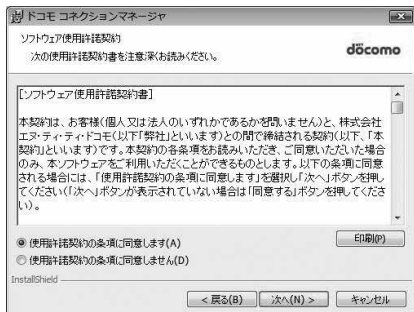
- Windows XPで、MSXML6・Wireless LAN APIが環境にない場合は、ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に、それらをインストールする必要があります。確認の画面が表示されたときは［Install］ボタンを押して、MSXML6・Wireless LAN APIをインストールします。
  MSXML6・Wireless LAN APIのインストール完了後、Windowsを再起動すると、自動的にドコモ コネクションマネージャのインストールがはじまります。

2 ［続行］をクリックする

- Windows XP／2000の場合、［ユーザーアカウント制御］画面は表示されません。すぐにセットアッププログラムが起動します。

3 ［次へ］をクリックする

4 注意事項を必ず確認のうえ、［次へ］をクリックする

次のページへ続く

5 使用許諾契約書の内容を確認のうえ、契約内容に同意する場合は、[使用許諾契約の条項に同意します]を選択し、[次へ]をクリックする

6 インストール先のフォルダを確認して、[次へ]をクリックする

7 [インストール]をクリックする

インストールがはじまります。

8 [完了]をクリックする

これでインストールは完了です。

ドコモ コネクションマネージャを起動する

1 「(スタート)」▶「すべてのプログラム」▶「NTT DOCOMO」▶「ドコモ コネクションマネージャ」▶「ドコモ コネクションマネージャ」

ドコモ コネクションマネージャを起動します。

■ Windows XPの場合

「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「NTT DOCOMO」▶「ドコモ コネクションマネージャ」▶「ドコモ コネクションマネージャ」を順にクリックします。

■ Windows 2000の場合

「スタート」▶「プログラム」▶「NTT DOCOMO」▶「ドコモ コネクションマネージャ」▶「ドコモ コネクションマネージャ」を順にクリックします。

2 初回起動時には、自動的に設定ウィザードが表示される

以降はソフトの案内に従って操作・設定をすることで、インターネットに接続する準備が整います。詳しくは、『ドコモ コネクションマネージャ操作マニュアル』をご覧ください。

次のページへ続く

お知らせ

- インターネットブラウザやメールソフトを終了しただけでは、通信は切断されません。
  通信をご利用にならない場合は、必ずドコモ コネクションマネージャの［切断する］ボタンで通信を切断してください。
  OSアップデートなどにおいて自動更新を設定していると自動的にソフトウェアが更新され、パケット通信料が高額となる場合がございますのでご注意ください。

ダイヤルアップネットワークの設定

ドコモ コネクションマネージャを使用せずに、パケット通信のダイヤルアップ接続を設定する方法について説明します。

接続先（APN）を設定する

パケット通信で使う接続先（APN）を設定します。接続先（APN）は最大11件設定でき、登録番号（cid）で管理します。
設定には、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

- お買い上げ時、登録番号（cid）1にはmopera.ne.jp、3にはmopera.netが設定されていますので、接続先を設定するときは、cid2、または4～11に設定してください。
- Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows Vistaで設定する場合は、Windows Vistaに対応する通信ソフトをご使用ください。設定方法については、ご使用になるソフトの取扱説明書などをご参照ください。
- 「mopera U」「mopera」以外の接続先（APN）については、ご利用のプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

例：Windows XPの場合

1 FOMA端末とパソコンを接続する

- 接続方法→P3

2 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ハイパーターミナル」を順にクリックする

ハイパーターミナルが起動します。

■ Windows 2000の場合
「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ハイパーターミナル」を順にクリックします。

3 「名前」欄に任意の接続先名を入力▶[OK]をクリックする

4 「電話番号」欄に実在しない電話番号（「0」など）を入力▶「接続方法」に「FOMA L01B」と表示されていることを確認▶[OK]をクリックする

- 複数のモデム名が「接続方法」欄に表示されるときは、FOMA端末のモデム名を確認して、選択してください。→P9

5 接続画面で[キャンセル]をクリックする

ハイパーターミナルの入力画面が表示されます。

次のページへ続く

6 接続先(APN)を入力▶↵を押す

AT+CGDCONT=<cid>,"<PDP type>","<APN>"↵の形式で入力します。
<cid>、<PDP type>、<APN>の部分には、それぞれ次の情報を任意で入力してください。
入力後、「OK」と表示されれば、接続先（APN）の設定は完了です。

cid ：2、4～11の内の任意の番号を入力します。
※ 既にcidが設定されている番号を選択した場合は、設定が上書きされますのでご注意ください。

PDP type：接続先が対応する接続方式をPPPまたはIPのどちらかから選択して、" "で囲んで入力します。

APN ：接続先（APN）を" "で囲んで入力します。

- 入力した文字が表示されない場合は、ATE1↵を入力してください。

cid2にPDP typeがPPP、APNがXXX.comの接続先を登録する場合

■ **指定したcidの接続先（APN）の設定をリセットする場合**
AT+CGDCONT=<cid>↵を入力します。

■ **設定されている接続先（APN）を確認する場合**
AT+CGDCONT?↵を入力します。

7 「ファイル」▶「ハイパーターミナルの終了」を順にクリックする

8 切断の確認画面で[はい]をクリック▶保存の確認画面で[いいえ]をクリックする

ハイパーターミナルが終了し、接続先（APN）の設定が完了します。

お知らせ

- 接続先（APN）は、FOMA端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末を接続する場合は接続先（APN）を登録し直してください。
- パソコンに登録されている接続先（APN）を継続利用する場合は、FOMA端末の同じ登録番号（cid）に同じ接続先（APN）を登録してください。

発信者番号の通知／非通知を設定する

パケット通信時に接続先に発信者番号を通知するかどうかを設定できます。ここでは、ATコマンド（＊DGPIRコマンド→P24）を使って、接続する前に設定する方法を説明します。
発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には、十分ご注意ください。

- Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows Vista で設定する場合は、Windows Vistaに対応する通信ソフトをご使用ください。設定方法については、ご使用になるソフトの取扱説明書などをご参照ください。

1 「接続先(APN)を設定する」(P14)の操作1～5を行う

ハイパーターミナルが起動します。

2 発信者番号の通知(186)／非通知(184)をATコマンドで設定する

AT＊DGPIR=<n> の形式で以下のように入力します。
入力後、「OK」と表示されれば、通知／非通知の設定は完了です。

- 入力した文字が表示されない場合は、ATE1↵を入力してください。

■ **発信者番号を非通知にする場合**
AT＊DGPIR=1↵
発信／着信応答時に自動的に184が付きます。

■ **発信者番号を通知する場合**
AT＊DGPIR=2↵
発信／着信応答時に自動的に186が付きます。

■ **＊DGPIRコマンドによる通知／非通知の設定を初期値（設定なし）に戻す場合**
AT＊DGPIR=0↵

お知らせ

- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、発信者番号を「通知」に設定する必要があります。

次のページへ続く

接続先番号による発信者番号の通知／非通知の設定について

ダイヤルアップネットワークの設定時（P16）に接続先番号に186（通知）／184（非通知）を付けても、発信者番号の通知／非通知を設定できます。
接続先番号、および＊DGPIRコマンドの各設定による発信者番号の通知／非通知の状態は以下のようになります。

接続先番号の設定（cid=3の場合）	＊DGPIRコマンドによる設定		
	設定なし	非通知	通知
＊99＊＊＊3＃	通知	非通知	通知
184＊99＊＊＊3#	非通知（接続先番号の設定（184）が優先されます）		
186＊99＊＊＊3#	通知（接続先番号の設定（186）が優先されます）		

ダイヤルアップネットワークの設定をする

パソコンから通信（ダイヤルアップネットワーク）の設定をします。

- 「mopera U」「mopera」以外に接続する場合の設定内容については、ご利用のプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。

例：<cid>=3に登録されているドコモのインターネット接続サービス「mopera U」へ接続する場合

Windows Vistaで設定する場合

1 「（スタート）」▶「接続先」を順にクリックする

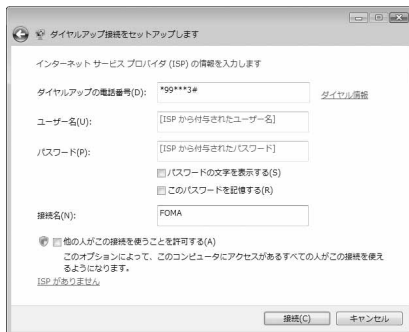
2 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリックする

3 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択▶［次へ］をクリックする

4 モデムの選択画面が表示された場合は「FOMA L01B」をクリックする

モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

5 各種設定を行い、［接続］をクリックする

- 「ダイヤルアップの電話番号」欄に接続先の番号を入力します。
- 「接続名」欄に任意の接続名を入力します。
- 「ユーザー名」「パスワード」の各欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。
- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でも接続できます。

6 「（接続名）に接続中...」画面で［スキップ］をクリックする

接続テストは行わずに、設定のみ確認します。

- ［スキップ］をクリックしない場合、インターネットに接続されますのでご注意ください。

7 「接続をセットアップします」▶［閉じる］をクリックする

8 「（スタート）」▶「接続先」を順にクリックする

9 作成したダイヤルアップのアイコンを選択▶右クリックして「プロパティ」をクリックする

次のページへ続く

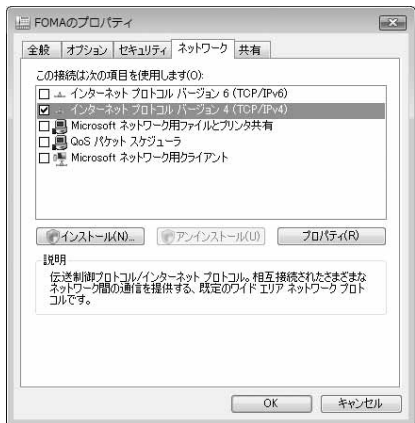
10 「全般」タブの画面で設定を確認する

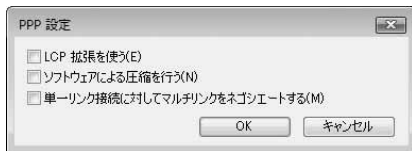
パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム−FOMA L01B」のみにチェックが付いていることを確認します（チェックが付いていない場合には、チェックします）。

- 「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します（チェックが付いている場合は、チェックを外します）。

11 「ネットワーク」タブをクリック▶各種設定を行う

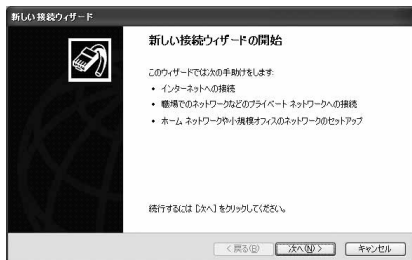
「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネット プロトコル バージョン4（TCP/IPv4）」にチェックを付けます。
「QoSパケット スケジューラ」の設定は、プロバイダまたはネットワーク管理者の指定に従ってください。

- TCP/IPを設定する場合は、［プロパティ］をクリックします。設定については、プロバイダまたはネットワーク管理者に確認してください。

12 「オプション」タブをクリック▶［PPP設定］をクリックする

13 すべての項目のチェックを外す▶［OK］をクリックする

14 「オプション」タブの画面で［OK］をクリックする

Windows XPで設定する場合

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「新しい接続ウィザード」を順にクリックする

2 新しい接続ウィザード画面で［次へ］をクリックする

3 「インターネットに接続する」を選択▶［次へ］をクリックする

4 「接続を手動でセットアップする」を選択▶［次へ］をクリックする

5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択▶［次へ］をクリックする

6 「デバイスの選択」画面が表示された場合は「モデム−FOMA L01B」を選択▶［次へ］をクリックする

デバイスの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

次のページへ続く

7 「ISP名」欄に任意の名前を入力▶[次へ]をクリックする

8 「電話番号」欄に接続先の番号を入力▶[次へ]をクリックする

9 接続の利用範囲を選択▶[次へ]をクリックする

ユーザーの選択を任意で行ってください。

- パソコンの設定によっては、この画面が表示されない場合があります。

10 「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」の各欄に入力▶[次へ]をクリックする

プロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。

- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、空欄でも接続できます。

11 [完了]をクリックする

新しく作成した接続ウィザードが表示されます。

12 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を順にクリックする

13 作成したダイヤルアップのアイコンを選択▶「この接続の設定を変更する」をクリックする

14 「全般」タブの画面で設定を確認する

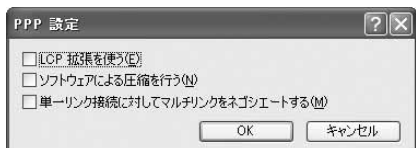
- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」欄で「モデム−FOMA L01B」のみにチェックを付けます。
- 「ダイヤル情報を使う」のチェックを外します。

次のページへ続く

15 「ネットワーク」タブをクリック▶各種設定を行う

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000,Internet」を選択します。
- 「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネット プロトコル（TCP/IP）」にチェックを付けます。「QoSパケット スケジューラ」の設定は変更できません。

16 ［設定］をクリックする

17 すべての項目のチェックを外す▶［OK］をクリックする

18 「ネットワーク」タブの画面で［OK］をクリックする

Windows 2000の場合

1 「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を順にクリックする

2 ネットワークとダイヤルアップ接続画面で「新しい接続の作成」アイコンをダブルクリックする

3 所在地情報画面が表示された場合は「市外局番」を入力▶［OK］をクリックする

「新しい接続の作成」をはじめて起動したときのみ表示されます。2回目以降は操作5に進んでください。

4 電話とモデムのオプション画面で［OK］をクリックする

5 ネットワークの接続ウィザード画面で［次へ］をクリックする

6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択▶［次へ］をクリックする

7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択▶［次へ］をクリックする

8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択▶［次へ］をクリックする

9 モデムの選択画面が表示された場合は「FOMA L01B」を選択▶［次へ］をクリックする

モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

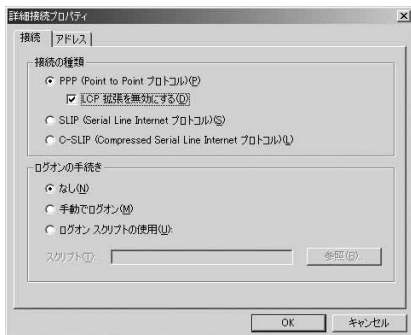
- 「FOMA L01B」が表示されていない場合は、「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」欄をクリックして「FOMA L01B」を選択します。

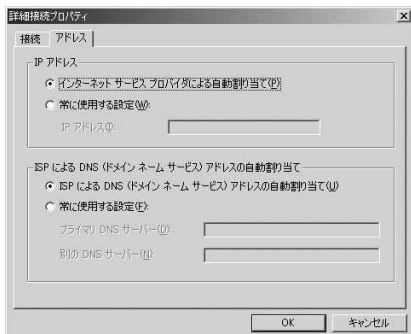
10 「電話番号」欄に接続先の番号を入力▶［詳細設定］をクリックする

「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックを外します。

次のページへ続く

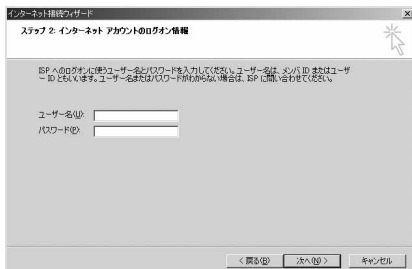
11 「接続」タブの画面で画面例のように設定を行う

- 「mopera U」「mopera」以外に接続する場合、「接続の種類」「ログオンの手続き」の各欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。

12 「アドレス」タブをクリック▶画面例のように設定▶[OK]をクリックする

- 「mopera U」「mopera」以外に接続する場合は、「IPアドレス」「ISPによるDNS（ドメインネームサービス）アドレスの自動割り当て」の各欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。

13 「インターネットアカウントの接続情報」画面で[次へ]をクリックする

14 「ユーザー名」「パスワード」を入力▶[次へ] をクリックする

プロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。

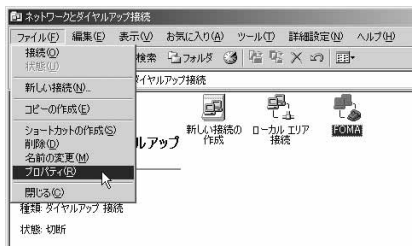
- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、空欄でも接続できます。空欄の場合、ユーザー名とパスワードの空白を確認する画面が続けて表示されます。各画面で［はい］をクリックします。

15 「接続名」欄に任意の接続先名を入力▶[次へ]をクリックする

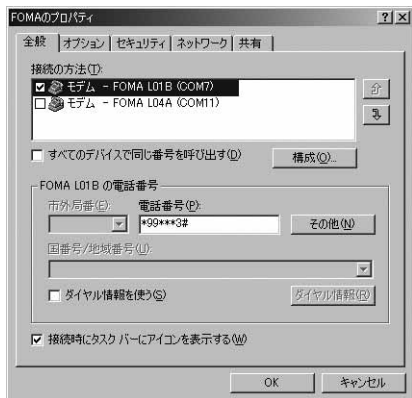
16 「いいえ」を選択▶[次へ]をクリックする

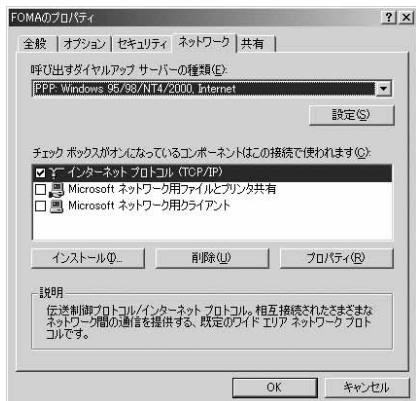
17 [完了]をクリックする

- 「今すぐインターネットに接続するにはここを選び完了をクリックしてください」が表示される場合はチェックを外します。

18 作成したダイヤルアップのアイコンを選択▶「ファイル」▶「プロパティ」を順にクリックする

次のページへ続く

19「全般」タブの画面で設定を確認する

- パソコンに2台以上モデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム－FOMA L01B」のみにチェックを付けます。
- 「ダイヤル情報を使う」のチェックを外します。

20「ネットワーク」タブをクリック▶各種設定を行う

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。
- 「チェックボックスがオンになっているコンポーネントはこの接続で使われます」欄は、「インターネット プロトコル（TCP/IP）」のみにチェックを付けます。

21［設定］をクリックする

22 すべての項目のチェックを外す▶［OK］をクリックする

23「ネットワーク」タブの画面で［OK］をクリックする

通信を行う

ドコモ コネクションマネージャを使わない通信および通信の切断の操作について説明します。

- 通信する前にFOMA端末がパソコンに正しく接続されていることを確認してください。→P3
- 通信するときは、設定に使用したFOMA端末を接続してください。異なるFOMA端末を接続した場合は、L-01B通信設定ファイルの再インストールが必要になる場合があります。

例：Windows Vistaの場合

1「（スタート）」▶「接続先」を順にクリック▶設定した接続先を選択▶［接続］をクリックする

■ Windows XPの場合

「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を順にクリック▶設定した接続先のアイコンをダブルクリックします。

■ Windows 2000の場合

「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を順にクリック▶設定した接続先のアイコンをダブルクリックします。

次のページへ続く

2 「ユーザー名」「パスワード」を入力▶［ダイヤル］をクリックする

接続先に接続されます。

- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は「ユーザー名」「パスワード」の各欄は空欄のまま、［ダイヤル］をクリックしても接続できます。その他のプロバイダやダイヤルアップ接続を選択した場合は、「ユーザー名」「パスワード」の各欄に入力し、［ダイヤル］をクリックしてください。
- ユーザー名とパスワードの保存、またはパスワードの保存にチェックを付けると、次回からは入力を省略できます。
- OSの種類によっては、ダイヤルアップを接続すると接続の完了画面が表示されます。ただし、以前に接続完了のメッセージを表示しない設定にした場合は、完了画面は表示されません。

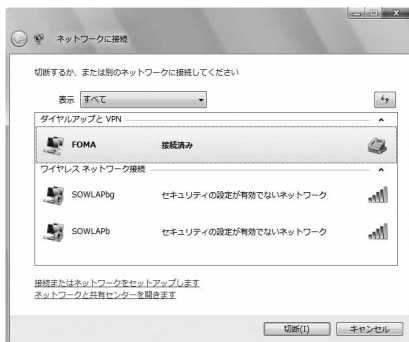
通信を切断する

インターネットブラウザを終了しただけでは通信が切断されない場合があります。次の操作を行い、確実に切断してください。

1 パソコンのタスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

接続状態を示す画面が表示されます。

2 ［切断］をクリックする

通信が切断されます。

お知らせ

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

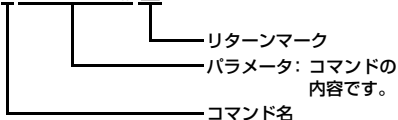
ATコマンドについて

パソコンでFOMA端末の機能の設定や状態の確認を行うためのコマンド（命令）です。通常は通信ソフトがATコマンドを発行するので、ATコマンドを意識する必要はありません。独自にATコマンドを入力してFOMA端末を制御したい場合に利用します。

ATコマンドの入力形式

ATコマンドの入力はハイパーターミナルなどの通信ソフトのターミナルモード画面で行います。

- ターミナルモードとは、パソコンで入力された文字が通信ポートに接続されている回線に送信されるモードのことを示します。

入力例

- ATコマンドは、コマンドに続くパラメータ（数字や記号）を含めて、必ず1行で入力します。通信ソフトのターミナルモード画面では、最初の文字から↵の直前の文字までが「1行」になります。ATコマンドも含めて256文字まで入力できます。
- ATコマンドは、コマンドに続くパラメータも含めて、必ず半角英数字で入力してください。
- 入力した文字が表示されない場合は、ATE↵を入力してください。

ATコマンド一覧

L-01B Modemで使用できるATコマンドです。

- 以下のコマンドは、入力可能ですが機能しない無効なコマンドです。
  - AT（ATのみ入力）
  - ATS0（自動着信するまでの呼び出し回数設定）
  - ATS6（ダイヤルするまでのポーズ時間設定）
  - ATS8（カンマダイヤルによるポーズ時間設定）
  - ATS10（自動切断までの遅延時間設定）

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
A/	直前に実行したATコマンドを再実行します。入力の最後にキャリッジリターン（CR）の入力は不要です。	－	A/ OK
AT%V	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT%V L01B-XXXXXXXXX-XXXXX-XXX-XX-2008-DCM-JP X　[XXX XX 2008 XX:XX:XX] OK
AT&C<n>	DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	n=0：CDは常にON n=1：CDは相手モデムのキャリアに応じて変化する（初期値）	AT&C1 OK
AT&D<n>	DTEから受け取る回路ER信号がオンまたはオフへ遷移したときの動作を選択します。	n=0：ERの状態を無視する（常にONとみなします） n=2：回線を切断しERがONからOFFに変化すると、オフラインコマンド状態になる（初期値）	AT&D2 OK
AT&F<n>	すべてのレジスタを工場出荷時の設定値に戻します。通信中にこのコマンドが入力された場合は、回線切断の処理が行われます。	n=0のみ指定可能（省略可）	－
AT&W<n>	現在の設定値をFOMA端末に記憶します。	n=0のみ指定可能（省略可）	－
AT＊DANTE	FOMA端末の電波状態（アンテナマークの棒の本数）を表示します。	リザルトの書式： ＊DANTE:<m> m=0：圏外の状態 m=1：アンテナが0本または1本表示される状態 m=2：アンテナが2本表示される状態 m=3：アンテナが3本表示される状態	AT＊DANTE ＊DANTE:3 OK

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT＊DGPIR=<n>	パケット通信時に、接続先への発信者番号の通知／非通知を設定します。 本コマンドの設定は、発信時に有効です。 なお、ダイヤルアップネットワークの設定で、接続先の番号に184（非通知）／186（通知）を付けても設定できます。→P16	n=0：APNの設定のまま接続 n=1：APNに184（非通知）を付加して接続 n=2：APNに186（通知）を付加して接続 AT＊DGPIR? :現在の設定値を表示する	AT＊DGPIR=0 OK AT＊DGPIR? ＊DGPIR:0 OK
AT＊DRPW	FOMA端末の受信電力指標値を表示します（最小値～最大値：0～75）。	−	AT＊DRPW ＊DRPW:25 OK
AT+CACM="<passwd>"	FOMAカードに記録される累積課金の値をリセットします。	passwd:PIN2コード 入力したPIN2コードが正しかった場合は、累積課金の値をリセットします。	（PIN2コードとして「1234」を入力） AT+CACM="1234" OK
AT+CBC	FOMA端末の電池残量を表示します。	リザルトの書式： ＋CBC:<bcs>,<bcl> bcs=0：電池パックより電源が供給されている状態 bcs=1：電池パックより電源が供給されていない状態 bcs=2：FOMA端末に電池パックが接続されていない状態 bcs=3：電源供給エラーによるFOMA端末から発信不可の状態 bcl　：電池残量を0～100の数値で表示する	AT+CBC +CBC:0,70 OK
AT+CGDCONT	パケット通信の接続先（APN）を設定します。	P30をご参照ください。	P30をご参照ください。
AT+CGEQMIN	PPPパケット通信の接続確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうか判定する基準値を登録します。	P30をご参照ください。	P30をご参照ください。
AT+CGEQREQ	PPPパケット通信の発信時にネットワーク側へ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	P30をご参照ください。	P30をご参照ください。
AT+CGMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	−	AT+CGMR XXXXXXXXXXXXXXXX OK

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CGREG=<n>	ネットワークへの登録状態を通知するかどうかを設定します。ネットワークから応答される通知情報に応じて圏内または圏外を表示します。	n=0：通知なし（初期値） n=1：通知あり 圏内／圏外が切り替わると通知する AT+CGREG? ：現在の状態を表示する リザルトの書式： +CGREG:<n>,<stat> n：通知のあり／なしの現在の設定値を表示する stat=0：パケット通信圏外 stat=1：パケット通信圏内 stat=4：不明 stat=5：パケット通信圏内（ローミング時）	AT+CGREG=1 OK （通知ありに設定した場合） AT+CGREG? +CGREG: 1,0 OK （パケット通信圏外の場合）
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。	−	AT+CGSN XXXXXXXXXXXXXXX OK
AT+CMEE=<n>	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。	n=0：通常のERROR リザルトを用いる（初期値） n=1：+CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は数値を用いる n=2：+CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は文字を用いる AT+CMEE? ：現在の設定値を表示する 右記は誤ったPINロック解除コード、およびPIN1/PIN2コードを入力した場合の表示例です。	AT+CMEE=0 OK AT+CPIN="12345678","1234" ERROR AT+CMEE=1 OK AT+CPIN="12345678","1234" +CME ERROR：16 AT+CMEE=2 OK AT+CPIN="12345678","1234" +CME ERROR：incorrect password
AT+CNUM	FOMA端末の自局電話番号を表示します。	リザルトの書式： +CNUM:,<number>,<type> number：自局電話番号 type=129 ：電話番号に「+」（国際アクセスコード）を含まない type=145 ：電話番号に「+」（国際アクセスコード）を含む	AT+CNUM +CNUM:,"090XXXXXXXX",129 OK

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CPAS	FOMA端末への制御信号が使用できる状態かどうかを表示します。	リザルトの書式： +CPAS:<pas> pas 0:FOMA端末への制御信号の送受信が可能	AT+CPAS +CPAS:0
AT+CPIN="<pin>"[,"<newpin>"]	FOMA端末にPINコードを入力します。	PIN1/PIN2/PINロック解除コードを入力します。 AT+CPIN? ：PIN1またはPIN2コードの状態を示します。リザルトコードについてはP31を参照してください。 ※AT+CPINによってPIN認証は可能ですが、FOMA端末には表示されません。ご注意ください。	AT+CPIN? +CPIN：SIM PIN OK （PIN1またはPIN2コードとして「1234」を入力） AT+CPIN="1234" OK （PINロック解除コードとして「12345678」、新しいPIN1またはPIN2コードとして「1234」を入力） AT+CPIN="12345678","1234" OK
AT+CPUC="<currency>","<ppu>"[,"<Passwd>"]	FOMAカードの通貨テーブルを書き換えます。	passwd：PIN2コード ※入力したPIN2コードが誤っていた場合は、「ERROR」が表示されます。 AT+CPUC? ：現在の設定値を表示する	（PIN2コードとして「1234」を入力） AT+CPUC="YEN","0.2","1234" OK AT+CPUC? +CPUC:"YEN","0.2" OK AT+CPUC =? OK
AT+CREG=<n>	圏内／圏外情報の表示に関するリザルト表示の有無を設定します（パソコンのOSによっては設定できない場合があります）。	n=0：通知なし（初期値） n=1：通知あり 圏内／圏外が切り替わると通知する AT+CREG? ：現在の状態を表示する リザルトの書式： +CREG:<n>,<stat> n：通知のあり／なしの現在の設定値を表示する stat=0：音声圏外 stat=1：音声圏内 stat=4：不明 stat=5：音声圏内（ローミング時）	AT+CREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CREG? +CREG:1,0 OK （圏外の場合） +CREG:1 （圏外から圏内に移動した場合）

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+FCLASS=<n>	FOMA端末がサポートする通信種別を設定します。	n=0 ：データのみサポート（初期値） AT+FCLASS? ：現在の設定値を表示する	AT+FCLASS=0 OK
AT+GCAP	FOMA端末のATコマンドのサポート能力を表示します。	－	AT+GCAP +GCAP:+CGSM, +FCLASS,+W OK
AT+GMI	製造元名を表示します。	－	AT+GMI LG Electronics Inc OK
AT+GMM	FOMA端末の製品名を表示します。	－	AT+GMM FOMA L01B OK
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+GMR L01B-MSM409565-VXXX-XXX-XX-XXXX-DCM-JP X [XXX XX 2008 XX:XX:XX] OK
AT+IFC=<n>,<m>	フロー制御方式を設定します。	n:DCE by DTE m:DTE by DCE <n>,<m>のパラメータ 0:フロー制御なし 1:XON/XOFFフロー制御 2:RS/CS（RTS/CTS）フロー制御（初期値） AT+IFC? ：現在の設定値を表示する	AT+IFC=2,2 OK AT+IFC? +IFC:2,2
AT+WS46=<n>	FOMA端末が使用する無線ネットワークを設定します。	n=12:GSM n=22:3G（W-CDMA） n=25:自動切り替え（初期値） AT+WS46? ：現在の設定値を表示する	AT+WS46=22 OK AT+WS46? 22 OK
AT¥S	現在設定されている各コマンド、Sレジスタの内容を表示します。	－	AT¥S E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 S000=000 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 OK

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATD	発信処理を行います。	入力の書式： ATD＊99＊＊＊<cid># cid:+CGDCONTコマンドで設定したAPNの登録番号（cid）を1～11で入力します。 • cidを省略して「ATD*99***#」と入力すると、自動的にcid1に登録されているAPNに発信されます。	ATD*99***3# CONNECT
ATE<n>	コマンドモードのときにDTEに対するエコーバックの有無を指定します。	n=0：エコーバックなし n=1：エコーバックあり（初期値）	ATE1 OK
ATH	パケット通信時に回線を切断します。	－	（パケット通信中） ATH NO CARRIER
ATI<n>	認識コードを表示します。	n=0：「NTT DOCOMO」を表示する n=1：製品名を表示する n=2：FOMA端末のバージョンを表示する n=3：ACMP信号の各要素を表示する n=4：FOMA端末の通信機能の詳細を表示する	ATI0 NTT DOCOMO OK ATI1 FOMA L01B OK
ATQ<n>	DTEへのリザルトコードを表示するかどうか設定します。	n=0：表示する（初期値） n=1：表示しない	ATQ0 OK ATQ1 （このとき、「OK」は表示されない）
ATS3=<n>	キャリッジリターン（CR）キャラクタを設定します。	n=13：初期値（13のみ設定できます） ATS3?：現在の設定値を表示する	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK
ATS4=<n>	ラインフィード（LF）キャラクタを設定します。	n=10：初期値（10のみ設定できます） ATS4?：現在の設定値を表示する	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK
ATS5=<n>	バックスペース（BS）キャラクタを設定します。	n=8：初期値（8 のみ設定できます） ATS5?：現在の設定値を表示する	ATS5=8 OK ATS5? 008 OK
ATV<n>	すべてのリザルトコードの表示を数字または英文字に設定します。	n=0：リザルトコードを数値で表示する n=1：リザルトコードを文字で表示する（初期値）	ATV1 OK

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATX<n>	接続時のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。また、ビジートーン、ダイヤルトーンを検出します。	n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（初期値）	ATX1 OK
ATZ	ATコマンドの設定を、不揮発メモリの内容にリセットします。通信中にこのコマンドが入力された場合は、設定はリセットされません。	－	ATZ OK

ATコマンドの補足説明

■ コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

- 概要
  パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。
  本コマンドは設定コマンドですが、&Fによるリセットは行われません。
- 書式
  +CGDCONT=［<cid>［,"<PDP type>"［,"<APN>"］］］
- パラメータ説明
  <cid>※1：1～11
  <PDP type>※2：PPPまたはIP
  <APN>※3：任意

※1 <cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。本FOMA端末では1～11が登録できます。
なお、<cid>=1にはmopera.ne.jp、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されています。
※2 <PDP type>は、パケット通信の接続方式です。接続先が対応する接続方式をPPPまたはIPのどちらかから選択して入力します。
※3 <APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。

- コマンド実行例
  abcというAPN名を登録する場合のコマンド（cid2に登録する場合）
  AT+CGDCONT=2,"IP","abc"
  OK
- パラメータを省略した場合の動作
  AT+CGDCONT=
  ：すべての<cid>を初期値に戻します。
  AT+CGDCONT=<cid>
  ：指定された<cid>を初期値に戻します。
  AT+CGDCONT=?
  ：設定可能な値のリスト値を表示します。
  AT+CGDCONT?
  ：現在の設定を表示します。

■ コマンド名：+CGEQMIN=［パラメータ］

- 概要
  パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
  本コマンドは設定コマンドですが、&Fによるリセットは行われません。
- 書式
  +CGEQMIN=［<cid>［,,<Maximum bitrate UL>［,<Maximum bitrate DL>］］］
- パラメータ説明
  <cid>※1：1～11
  <Maximum bitrate UL>※2：なし（初期値）または5,760
  <Maximum bitrate DL>※2：なし（初期値）または7,232

※1 <cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
※2 <Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最大通信速度［kbps］の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、5,760および7,232を設定した場合はこれらの値以外での速度の接続は許容しないため、パケット通信が接続できない場合がありますのでご注意ください。

- コマンド実行例
  (1) 上り／下りすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが2の場合）
  AT+CGEQMIN=2
  OK
  (2) 上り5,760kbps／下り7,232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが2の場合）
  AT+CGEQMIN=2,,5760,7232
  OK
  (3) 上り5,760kbps／下りはすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが2の場合）
  AT+CGEQMIN=2,,5760
  OK
  (4) 上りすべての速度／下り7,232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが4の場合）
  AT+CGEQMIN=4,,,7232
  OK
- パラメータを省略した場合の動作
  AT+CGEQMIN=
  ：すべての<cid>を初期値に戻します。
  AT+CGEQMIN=<cid>
  ：指定された<cid>を初期値に戻します。
  AT+CGEQMIN=?
  ：設定可能な値のリスト値を表示します。
  AT+CGEQMIN?
  ：現在の設定を表示します。

■ コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

- 概要
  パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
  次のコマンド実行例に記載されている1種類のみ設定でき、初期値としても設定されています。
  本コマンドは設定コマンドですが、&Fによるリセットは行われません。
- 書式
  +CGEQREQ=［<cid>］
- パラメータ説明
  <cid>※：1～11
  ※ <cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
- コマンド実行例
  上り5,760kbps／下り7,232kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド（cidが2の場合）
  AT+CGEQREQ=2,2,5760,7232
  OK

次のページへ続く

- パラメータを省略した場合の動作
  AT+CGEQREQ=
  : すべての<cid>を初期値に戻します。
  AT+CGEQREQ=<cid>
  : 指定された<cid>を初期値に設定します。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
15	SIM wrong	FOMAカード以外のSIM（NTTドコモ以外のICカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが誤っています。
100	unknown	不明なエラーです。

リザルトコード

■ リザルトコード一覧

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信しています。
3	NO CARRER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンが検出できません。
7	BUSY	話中音検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了（タイムアウト）
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です。

お知らせ

- ATVnコマンド（P28）がn=1に設定されている場合は文字表示（初期値）、n=0に設定されている場合は数字表示でリザルトコードが表示されます。

■ AT+CPIN?のリザルトコード

FOMA端末の状態	リザルトコード
入力待ち	+CPIN:SIM PIN（PIN1コードの場合） +CPIN:SIM PIN2（PIN2コードの場合）
PINロック解除コード入力待ち	+CPIN:SIM PUK（PIN1コードの場合） +CPIN:SIM PUK2（PIN2コードの場合）
PINコード認証済み	+CPIN:READY
不適切なコマンドが入力された状態	+CME ERROR:Operation is not allowed
コマンド誤入力	ERROR

L-01B 区点コード一覧

区点コード一覧

- 区点コード一覧の表示は、ディスプレイの表示と見えかたが異なる場合があります。

区点 1~3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤

区点 1~3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
						あ				
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
						い				
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
						う				
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
						え				
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
						お				
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
						か				
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺

区点 1~3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
						き				
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
						く				
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
						け				
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
						こ				
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ぬ～の										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄

区点 1~3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
ゆ										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る～れ										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
ろ										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
わ										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	競	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			